

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 エーザイ株式会社

コード番号 4523 URL http://www.eisai.co.jp

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 内藤 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役
コーポレートコミュニケーション担当

(氏名) 藤吉 彰

TEL 03-3817-5120

四半期報告書提出予定日 平成20年11月10日

配当支払開始予定日

平成20年11月19日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	398,828	—	46,544	—	43,610	—	28,712	—
20年3月期第2四半期	362,817	13.6	57,061	14.9	59,560	15.1	39,351	21.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第2四半期	100.78		100.74	
20年3月期第2四半期	138.49		138.34	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円			円 銭	
21年3月期第2四半期	1,156,499		464,871		39.8	1,614.51	
20年3月期	1,123,939		453,791		39.9	1,575.49	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 459,991百万円 20年3月期 448,860百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00
21年3月期	—	70.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	70.00	140.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	806,000	9.8	94,000	429.6	86,500	358.9	56,500	—	198.31

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有
(個別業績予想数値も当四半期において修正しております。)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、15～17ページ【定性的情報・財務諸表等】6. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、15～17ページ【定性的情報・財務諸表等】6. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	296,566,949株	20年3月期	296,566,949株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	11,656,846株	20年3月期	11,665,319株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	284,902,381株	20年3月期第2四半期	284,139,183株

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 予想数値、予想の前提条件その他に関する事項については、12～13ページをご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

3. 上記2)より、サマリー情報の当連結会計年度に係る対前年同四半期増減率は記載していません。

【定性的情報・財務諸表等】

当文章中の前年同期と比較した指標、金額は「参考値」として記載しております。
 なお、当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間との会計処理の変更に伴う差異は、
 15～17ページ「6. その他」に記載しております。

1. 連結経営成績に関する概要

1) 当第2四半期連結累計期間の経営成績（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

[売上高、利益の状況]

○ 当第2四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高	3,988億28百万円	(前年同期比)	9.9%増
営業利益	465億44百万円	(同)	18.4%減
経常利益	436億10百万円	(同)	26.8%減
四半期純利益	287億12百万円	(同)	27.0%減

○ 売上高については、アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」が1,525億76百万円（前年同期比8.3%増）と増加しましたが、プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「パリエット」（米国名「アシフェックス」）は825億55百万円（同10.5%減）となりました。また、制吐剤「Aloxi」の売上高は189億20百万円、DNAメチル化阻害剤「Dacogen」の売上高は86億66百万円となりました。

所在地別売上高はすべての地域で順調に増加いたしました。

○ 前期のMGI PHARMA, INC.買収に伴うのれん償却額の計上や研究開発活動への積極的資源投入の結果、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに減益となりました。

○ これにより、1株当たり四半期純利益は100円78銭（前年同期より37円72銭減）となりました。

<実業ベース>

○ 企業活動の実態を見るため、「GAAPベース」（現行の会計基準ベース）から前期のMGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理（非キャッシュ項目）を除き算出した「実業ベース」での連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高	3,988億28百万円	(前年同期比)	9.9%増
営業利益	619億16百万円	(同)	8.5%増
経常利益	589億82百万円	(同)	1.0%減
四半期純利益	402億62百万円	(同)	2.3%増

○ これにより、実業ベースでの1株当たり四半期純利益は141円32銭（前年同期より2円82銭増）となりました。

<キャッシュ創出力>

○ 当社はキャッシュ・インカムを成長投資、事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、「キャッシュ創出力」を表わすものと考えております。よって、企業の成長性・戦略を検証する尺度として記載しております。

キャッシュ・インカムは582億95百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

*キャッシュ・インカムの算式

四半期純損益+有形・無形固定資産減価償却費+インプロセス研究開発費+のれん償却額+減損損失

[セグメントの状況]

(各セグメントの売上高は外部顧客に対するものです)

(1) 事業の種類別セグメント

<医薬品分野>

- 「アリセプト」が伸長し、前期に買収した MGI PHARMA, INC.の主力2製品が売上増に貢献いたしました。
- この結果、医薬品分野の売上高は3,884億50百万円(前年同期比10.5%増)となりましたが、前期の MGI PHARMA, INC.買収に伴うのれん償却額の計上や研究開発活動への積極的資源投入により、営業利益は479億20百万円(同17.7%減)となりました。

<その他の分野>

- 食品添加物、化学品、製薬用機械等の売上高は103億78百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益は8億46百万円(同14.4%減)となりました。

(2) 所在地別セグメント

<日 本>

- 売上高は1,662億86百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は研究開発活動への積極的資源投入により391億10百万円(同14.7%減)となりました。
- 医療用医薬品では、「アリセプト」の売上高は382億54百万円(前年同期比27.4%増)、「パリエット」の売上高は216億80百万円(同18.7%増)とそれぞれ伸長いたしました。
- ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ皮下注40mg シリンジ0.8mL」を関節リウマチの効能・効果で平成20年6月に新発売いたしました。

<北 米>

- 売上高は1,873億81百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益は36億67百万円(同62.3%減)となりました。前期の MGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理(非キャッシュ項目)を除き算出した「実業ベース」での営業利益は190億39百万円(同95.9%増)であります。
- 「アリセプト」の売上高は932億65百万円(前年同期比4.2%増、現地通貨では17.2%増)、「アシフェックス」の売上高は528億78百万円(同20.3%減、現地通貨では10.4%減)となりました。また、制吐剤「Aloxi」の売上高は189億20百万円、DNAメチル化阻害剤「Dacogen」の売上高は86億66百万円となりました。
- 術後の悪心・嘔吐予防を効能・効果とする「Aloxi注射剤0.075mg」の販促活動を平成20年7月に開始いたしました。

<欧 州>

- 売上高は290億70百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は21億60百万円(同143.2%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は166億50百万円(前年同期比3.9%減)、「パリエット」の売上高は50億81百万円(同10.5%増)となりました。

<中 国>

- 売上高は 60 億 29 百万円（前年同期比 27.6%増）、営業利益は 13 億 37 百万円（同 20.2%増）となりました。
- 「アリセプト」の売上高は 4 億 43 百万円（前年同期比 11.6%増）、「パリエット」の売上高は 3 億 27 百万円（同 13.4%減）となりました。

<ア ジア 他>（中国を除く）

- 売上高は 100 億 60 百万円（前年同期比 9.0%増）、営業利益は 24 億 18 百万円（同 20.8%増）となりました。
- 「アリセプト」の売上高は 39 億 62 百万円（前年同期比 9.3%増）、「パリエット」の売上高は 25 億 86 百万円（同 0.5%増）となりました。

<海 外 計>

- 日本を除く海外所在地別売上高の合計は、2,325 億 41 百万円（前年同期比 13.2%増）となり、売上高比率は 58.3%（前年同期より 1.7 ポイント増）となりました。

2) 当第2四半期連結会計期間の業績概況(平成20年7月1日~平成20年9月30日)

- 当3カ月間の連結売上高は、2,030億8百万円(前年同期比8.7%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は796億39百万円(前年同期比8.3%増)で、うち日本が188億11百万円(同24.5%増)、米国が498億50百万円(同3.8%増、現地通貨では14.1%増)となりました。
「パリエット/アシフェックス」は417億10百万円(前年同期比11.9%減)で、うち日本は106億38百万円(同14.1%増)、米国が269億70百万円(同22.0%減、現地通貨では14.5%減)となりました。
また、制吐剤「Aloxi」の売上高は94億66百万円、DNAメチル化阻害剤「Dacogen」の売上高は43億5百万円となりました。
- 所在地別の外部顧客に対する売上高は、日本が前年同期比3.4%増、北米が同12.0%増、欧州が同14.7%増、中国が同32.5%増、アジア他(中国除く)が同7.5%増となりました。
- 研究開発費は423億3百万円(前年同期比26.9%増)、販売費・一般管理費983億54百万円(同3.0%増)となりました。売上原価は398億67百万円(同47.2%増)で、売上原価率は19.6%(前年同期より5.1ポイント増)となりました。
- 営業利益は224億83百万円(前年同期比27.2%減)、経常利益は197億47百万円(同36.7%減)、第2四半期純利益は120億76百万円(同39.7%減)となり、1株当たり四半期純利益は、42円39銭(前年同期より28円4銭減)となりました。
なお、実業ベースの営業利益は297億89百万円(前年同期比3.5%減)、経常利益は270億52百万円(同13.3%減)、四半期純利益は176億38百万円(同11.9%減)となり、1株当たり四半期純利益は、61円91銭(前年同期より8円52銭減)となりました。
- 営業活動から得たキャッシュ・フローは、507億72百万円(前年同期より168億63百万円増)となりました。税金等調整前四半期純利益は184億30百万円、減価償却費は126億31百万円、売上債権の増加額は90億41百万円、法人税等の支払額は15億62百万円であります。
投資活動によるキャッシュ・フローは、92億73百万円の支出(前年同期より26億5百万円増)となりました。そのうち、有形固定資産の取得に83億56百万円を支出いたしました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、55億38百万円の支出(前年同期より54億63百万円増)となりました。

3) 研究開発などの状況

[開発品の状況]

- 抗がん剤「E 7 3 8 9」(微小管伸長阻害剤)は、乳がんを対象としたフェーズⅢ試験を欧米で実施しており、日本でもフェーズⅡ試験が進行中であります。また、非小細胞肺癌(米国)、前立腺がん(欧米)、肉腫(欧州)を対象としたフェーズⅡ試験を進めております。
- AMPA受容体拮抗剤「E 2 0 0 7」は、神経因性疼痛、てんかんの2つの適応における開発に集中展開しております。欧米において、てんかんを対象としたフェーズⅢ試験を開始し進行中であります。また、神経因性疼痛を対象としたフェーズⅡ試験を進めております。
- エンドトキシン拮抗剤「E 5 5 6 4」は、日本、米国、欧州での同時申請をめざして、重症敗血症を対象としたフェーズⅢ試験が進行中であります。本試験は、国際共同試験として取り組んでおります。
- 平成20年8月、制吐剤「Aloxi」の新剤形である経口剤(カプセル剤)は、米国でがん化学療法に伴う急性悪心・嘔吐予防の効能・効果で剤形追加承認を取得いたしました。
- 平成20年10月、皮膚T細胞リンパ腫(CTCL)治療剤「Ontak」静注剤は、悪性細胞がインターロイキン2(IL-2)受容体の構成要素CD25を発現している(CD25+)持続性もしくは再発性のCTCLの治療を効能・効果とした生物製剤追加承認申請(sBLA)について、FDA(米国食品医薬品局)による優先審査の結果、承認されました。これにより、すでに取得していた迅速承認から完全承認に切り替わりました。一方、悪性細胞がIL-2受容体の構成要素CD25を発現していない(CD25-)CTCLに関するsBLAも提出してはいたしましたが、本件についてはFDAよりComplete Response Letterを受領し、承認に至りませんでした。今後、適切な対応についてFDAと協議を進めてまいります。
- DNAメチル化阻害剤「Dacogen」は、米国で骨髄異形成症候群の治療において5日間投与とする用法・用量追加の申請準備中であります。
- てんかん治療剤「ゾネグラン」は、効能・効果拡大に関する開発計画について、現在欧州においてフェーズⅢ試験が進行中である、てんかん単剤療法、てんかん小児適応の効能・効果拡大に向けた開発に集中することとし、全般性てんかん(併用療法)を対象とした開発は中止することを決定いたしました。
- 抗がん剤「E 7 0 8 0」(VEGFチロシンキナーゼ阻害剤)は、米国で甲状腺がんを対象としたフェーズⅡ試験を開始いたしました。
- 平成20年4月、ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」は、日本で関節リウマチの効能・効果で製造販売承認を取得いたしました。

- 平成20年5月、非イオン性造影剤「イオメロン350」「イオメロン350 シリンジ」は、日本で肝臓領域のダイナミックコンピューター断層撮影における造影に関する用法・用量の追加承認を取得いたしました。あわせて、「イオメロン350 シリンジ」の高容量製剤である135mL製剤の剤形追加承認も取得いたしました。
- 不眠症治療剤「SEP-190」(GABA-A受容体作動剤)は、日本で不眠症を対象としたフェーズⅢ試験を開始し進行中であります。
- 平成20年9月、消化管運動機能改善剤「ガスマチン」は、タイで機能性胃腸症の効能・効果で製造販売承認を取得いたしました。また、マレーシア、インドネシア、フィリピンでは申請中、アセアン諸国等6カ国では申請準備中であります。
- アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」は、米国で小児におけるがん化学療法に伴う認知機能障害を対象としたフェーズⅢ試験を開始し進行中であります。また、小児におけるダウン症候群に伴う認知機能障害を対象としたフェーズⅢ試験も開始いたしました。
- 平成20年6月、プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「パリエット/アシフェックス」は、米国で青年期(12歳以上)胃食道逆流症の短期治療(上限8週間)に係る追加承認を取得いたしました。また、日本で逆流性食道炎の用法・用量追加に関するフェーズⅡ/Ⅲ試験を開始し進行中であります。
- 平成20年4月、欧州委員会は、抗がん剤「MORAb-003」(モノクローナル抗体)、抗がん剤「MORAb-009」(モノクローナル抗体)をオーファンドラッグ(希少疾病用医薬品)に指定いたしました。なお、平成20年6月より「MORAb-009」のフェーズⅡ試験の実施施設を欧州連合(EU)内にも拡大いたしました。
- 平成20年5月、FDAの麻酔・生命維持薬諮問委員会が開催され、米国で申請中の鎮静剤「fospropofol disodium」について承認の推奨が採択されました。平成20年7月、FDAより本剤の承認申請に関し、非承認可能性通知を受領いたしました。本通知において、FDAは適切な研修を受けた専門医による本剤使用の承認にいたる今後の方向性もあわせて示しております。

[主な提携などの状況]

- 平成20年4月、当社の診断薬事業子会社の三光純薬株式会社、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社、日本光電工業株式会社と、ロシュ社(スイス)が開発したPT-INR(プロトロンビン時間国際標準比)簡易・迅速測定装置「コアグチェックXS」「コアグチェックXS Plus」ならびにその関連製品について、販売に関する各種契約を締結することに合意いたしました。これらの契約合意に基づき、平成20年6月より「コアグチェックXS」シリーズの日本での販売を日本光電工業とロシュ・ダイアグノスティックスから三光純薬に移管し、当社が販売支援を行っております。ロシュ・ダイアグノスティックスは従来どおり製造(輸入)販売元となり、日本光電工業は発売元として販売・技術面でのサポートを行っております。

- ライオン株式会社、ブリストル・マイヤーズ株式会社と、ライオンが日本で製造販売承認を有する医療用医薬品の抗血小板剤「バファリン 81mg 錠」、解熱鎮痛消炎剤「バファリン 330mg 錠」に関し、平成20年7月1日より販売元をブリストル・マイヤーズから当社に変更することで合意し、平成20年5月、ライオンと日本における同製品の独占的販売権許諾に関する契約を締結いたしました。
- グラクソ・スミスクライン株式会社と、同社グループが製造し、日本で当社が販売していた鼻孔拡張テープ「ブリーズライト」シリーズの販売提携について、平成20年5月31日をもって終了することで合意いたしました。平成20年6月1日から、グラクソ・スミスクラインが日本で本製品を販売しております。
- 平成20年6月、当社の連結子会社である株式会社クリニカル・サプライの当社が所有する全株式（発行済株式数の84.8%）をテルモ株式会社に譲渡する旨の株式売買契約をテルモとの間で締結し、株式を譲渡いたしました。
- 平成20年6月、当社の米国子会社である Morphotek, Inc.は、米国立がんセンターと同センターの研究者が新たに発見した抗原に対するモノクローナル抗体の開発について、ライセンス契約を締結いたしました。今後、Morphotek, Inc.は、独自の MORPHODOMA 抗体技術を使用し、前立腺がん治療用の新たなヒト抗体治療薬の開発を目指してまいります。
- 平成20年7月、当社の中国子会社である衛材（中国）薬業有限公司は、STADA 社（ドイツ）の中国販売子会社であるヘルスビジョンエンタープライズ社（香港）と、STADA 社が開発した糖尿病性神経因性疼痛治療剤「 α -Lipon 300 STADA」（一般名： α -リポ酸）に関して、中国における販売およびリパック（半製品への小分け製造）等に関わるライセンス契約を締結いたしました。
- 平成20年7月、Morphotek, Inc.は、Pivotal BioSciences, Inc.（米国）と、同社の L E C（Liver-Expression Chemokine）基盤技術（ヒト免疫系の機能を増強し効果的な抗腫瘍反応を惹起する技術）の利用に関する契約を締結いたしました。本契約により、Morphotek, Inc.は、L E C 基盤技術を評価した上で、ライセンス権についてのオプションを行使できる権利を得ることになりました。オプション権が行使された場合、Morphotek, Inc.は、治療用モノクローナル抗体の開発にあたり Pivotal BioSciences, Inc.より全世界における L E C 基盤技術のライセンスを受け、この技術を用いて開発された製品を商業化する権利を保有することになります。
- 平成20年8月、シンバイオ製薬株式会社（東京都）と、当社が日本における独占的開発および販売権を有する「ベンダムスチン塩酸塩」に関して、日本における共同開発および販売に係る独占的ライセンス契約を締結いたしました。現在、日本ではシンバイオ製薬が低悪性度非ホジキンリンパ腫を対象として、申請に向けた最終段階の臨床試験を実施中であります。

[その他]

- 平成20年7月、米国連邦巡回控訴裁判所は、当社と当社の米国事業会社 Eisai Inc.が、米国において後発医薬品メーカーに対して提訴していたプロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「アシフェックス」(日本での「製品名：パリエット」)に関する物質特許侵害訴訟について、米国ニューヨーク州南部地区連邦地方裁判所が示した本剤の物質特許が有効とする略式判決および本特許が権利行使可能であるとする判決の双方を支持するとの判断を示しました。

2. 連結財政状態に関する概要

[資産等の状況]

- 当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、1兆1,564億99百万円（前期末より325億60百万円増）となりました。主な増加は、有価証券、有形固定資産、繰延税金資産などです。投資有価証券などは減少いたしました。
- 負債合計は6,916億28百万円（前期末より214億80百万円増）となりました。主な増加は、未払債務、未払法人税等などです。
- 純資産合計は4,648億71百万円（前期末より110億79百万円増）となり、自己資本比率は39.8%（前期末より0.2ポイント減）となりました。

[資金調達の状況]

- 当第2四半期連結会計期間末の短期借入金は30億円（前期末より3,598億19百万円減）、社債は1,206億79百万円（同1,198億49百万円増）、長期借入金は2,824億99百万円（同2,324億99百万円増）となりました。
- 前期にMGI PHARMA, INC.の買収資金として短期借入を行いました。買収のための短期借入金はすべて社債と長期借入金にシフトいたしました。
- 社債は、平成20年6月に国内において総額1,200億円の無担保普通社債を発行し、長期借入金は、平成20年7月と8月に銀行、生命保険会社等から1,600億円を調達いたしました。
- 当社の財務戦略は、現水準以上の高い信用格付けを維持するとともに、安定した財務の健全性および柔軟性を確保することを基本としております。
- 現在の長期借入債務の格付けは、ムーディーズによって「A」、格付投資情報センターによって「AA-」であります。

[キャッシュ・フローの状況]

- 当第2四半期連結累計期間の営業活動から得たキャッシュ・フローは、693億36百万円（前年同期より276億6百万円増）となりました。税金等調整前四半期純利益は436億7百万円、減価償却費は249億円、売上債権の増加額は87億88百万円、法人税等の支払額は170億25百万円です。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、170億9百万円の支出（前年同期より356億15百万円減）となりました。そのうち、有形固定資産の取得に199億3百万円を支出いたしました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、255億42百万円の支出（前年同期より67億66百万円増）となりました。配当金の支払いに185億18百万円を支出し、また、買収のための短期借入金を返済して、社債と長期借入金にシフトいたしました。
- 以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物は、1,420億88百万円（前期末より221億38百万円増）となりました。

3. 利益配分に関する考え方および当中間（第2四半期末）配当

当社は委員会設置会社であり、剰余金の配当等に関しては機動的に行うことを目的として取締役会決議とすることを定款に定めております。

株主還元については、連結業績ならびに純資産配当率（DOE）等を勘案し、株主の皆様へ継続的・安定的な配当を実施してまいります。DOEは、株主の皆様への利益配分を示す配当性向（DPR）と、株主の皆様が投資した資金を使いどれだけ効果的に利益を出せたかを示す自己資本当期純利益率（ROE）の2つの要素が含まれていることから、株主還元指標としてバランスのとれた相応しいものと考えております。

当中間(第2四半期末)配当金は、株主の皆様への継続的・安定的な配当という基本方針、ならびに1株当たりキャッシュ・インカムの成長性を踏まえ、1株当たり70円（前年同期より5円増）とさせていただきます。

自己株式の取得に関しては、適切な時期に機動的に実施いたします。

4. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

[連結業績予想]

- 通期の連結業績の見通しについては、本年7月に発表した予想を次のとおり修正いたします。

	今回発表予想		前回発表予想		増減額 (A-B)	増減率
	(A)	前期比	(B)	前期比		
売上高	8,060億円	9.8%増	8,060億円	9.8%増	—	—
営業利益	940億円	429.6%増	930億円	423.9%増	10億円	1.1%
経常利益	865億円	358.9%増	870億円	361.5%増	△5億円	△0.6%
当期純利益	565億円	—	560億円	—	5億円	0.9%

* 1株当たり予想当期純利益 (通期) 198円31銭
(第3・第4四半期的前提為替レート: 1米ドル100円、1ユーロ135円、1英ポンド175円)

<売上高>

- 売上高については、日本における主力品の好調な推移により第3・第4四半期に想定する為替の円高の影響を吸収し、前回予想どおりの8,060億円を見込んでおります。
- 主力品の「アリセプト」は3,140億円と前回予想より20億円の増額を見込んでおります。「パリエット/アシフェックス」は1,610億円と前回予想より60億円の減額を見込んでおります。

<利益>

- 当初予想からの物量増により円高による売上高の減少要因を吸収するため、売上原価の上昇も見込まれますが、日本におけるさらなる収益貢献に加え、円高の影響によりグローバルな研究開発費ならびに販売管理費の減少も予想できるため、実業ベースの営業利益については、前回予想どおりの1,225億円を見込んでおります。
- 実業ベースの当期純利益も同様に、前回予想どおりの783億円を見込んでおります。
- 上記実業ベースの予想を踏まえ、GAAPベースの予想を次のとおり修正いたします。
- GAAPベースの営業利益については、MGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計処理の円高による減少を見込み、前回予想より10億円の増額となる940億円を見込んでおります。
- GAAPベースの経常利益は前回予想より5億円減額の865億円、当期純利益は前回予想より5億円増額となる565億円を見込んでおります。
- 今後も、研究開発活動ならびに持続的な成長に向けて積極的に投資を行ってまいります。併せて原価率の低減や販売管理費の効率化につとめてまいります。

[期末配当金予想]

- 期末配当金の予想については変更しておりません。
- 期末配当金は1株当たり70円(前年同期より5円増)を予定いたします。
1株当たり中間(第2四半期末)配当金70円とあわせ、年間配当金は1株当たり140円(前期より10円増)、DOEは8.9%を見込んでおります。

(参考)

[個別業績予想]

- 通期の個別業績の見通しについても、本年5月に発表した予想を次のとおり修正いたします。

	今回発表予想		前回発表予想		増減額 (A-B)	増減率
	(A)	前期比	(B)	前期比		
売上高	4,050億円	4.1%増	3,980億円	2.3%増	70億円	1.8%
営業利益	700億円	4.2%減	665億円	9.0%減	35億円	5.3%
経常利益	625億円	12.0%減	595億円	16.2%減	30億円	5.0%
当期純利益	465億円	1.1%増	400億円	13.0%減	65億円	16.3%

* 1株当たり予想当期純利益(通期) 163円21銭
(第3・第4四半期の前提為替レート: 1米ドル100円、1ユーロ135円、1英ポンド175円)

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。
- 当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、MGI PHARMA, INC.買収に関するリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に係るリスク。

なお、上記リスク項目の詳細に関しては、当社の有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

5. コーポレートガバナンスに関連する事項

当社グループは、国内外のグループ企業における共通の「知」である企業理念の実現を通して、企業価値を向上させ、株主の皆様からの共同の利益を長期的に増大させるために、長期的な視野のもと企業活動を実行していかなければならないと考えております。そのためには株主の皆様からの信頼を得ることが重要であり、当社グループは、最良のコーポレートガバナンスの実現に向けて、その充実に取り組んでおります。

当社は、委員会設置会社であり、経営の監督機能と業務執行機能を明確に分離することを基軸とし、取締役会は、法令の範囲内で、社の業務決定を大幅に執行役に委任することで、経営の監督に専念するシステムとしております。また、株主の皆様をはじめとするステークホルダーズの皆様の立場から客観的かつ公正な経営の監督を行うために、取締役の過半数を社外取締役としております。さらに、取締役会の議長と代表執行役社長を分離するとともに取締役会の議長を社外取締役とし、執行役を兼任する取締役は代表執行役社長1名としております。社外取締役は、法令に定める要件に加え、当社の指名委員会が定めた「社外取締役の独立性の要件」を満たしております。指名委員会と報酬委員会は、すべて社外取締役で構成し、監査委員会は過半数を占める社外取締役と社内事情に精通した社内取締役で構成するとともに委員長を社外取締役としております。

また、当社は、社外取締役全員で構成する経営陣から独立した社外取締役独立委員会を設置しております。当委員会は、「当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針」の維持、見直し、廃止および本対応方針を運用する役割を担っております。

平成20年6月20日開催の第96回定時株主総会終了後に開催された社外取締役独立委員会では、互選により取締役会の議長を兼務しない委員長が選定され、本対応方針について、法令名の変更による一部表記の変更はありますが、現行の内容で継続することを当社取締役会に提案する旨決議し、平成20年7月31日開催の取締役会において本対応方針の継続が審議され、承認されました。

当社は、今後とも、コーポレートガバナンスの充実につとめるとともに、経営に関する重要な情報を積極的かつ適時・適切に開示することによって、公正かつ透明性の高い経営を遂行してまいります。

なお、当社のコーポレートガバナンスガイドライン、取締役会規則、指名委員会規則、監査委員会規則、報酬委員会規則、およびコーポレートガバナンスシステムに関する状況を当社のホームページ(<http://www.eisai.co.jp/company/cgregulations.html>)に掲載しております。また、「コーポレートガバナンス報告書」を東京証券取引所ならびに大阪証券取引所へ報告し、両取引所ならびに当社のホームページに掲載しております。

6. その他

1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(1) 簡便な会計処理

- ① 棚卸資産の評価方法は、当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出において、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(1) 会計処理基準に関する事項の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- ② 当社および国内連結子会社は、通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これに伴う、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

- ③ 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、のれんの償却をはじめとする連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は4,953百万円減少し、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ4,867百万円減少しております。また、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

なお、海外連結子会社ののれんについては、その発生原因により20年以内で均等償却しております。

(2) (1) 以外の変更

- ① 従来、当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。

この変更は、主に次の3つの理由により当連結グループの会計処理の統一と期間損益の適正化をはかるために判断したものであります。1. 平成18年4月から開始した中期戦略計画により今後益々、有形固定資産に占める海外比率が高まる見通しであること、およびグローバルな事業展開の重要性が増すなかで国際財務報告基準や米国会計基準を勘案し、海外連結子会社と減価償却方法の整合性をはかること、2. 当連結グループの製品群からは長期的かつ安定的な収益の獲得が見込まれることから、定額償却の方が収益に対応した減価償却費の配分をより適正に反映できること、3. 当社および国内連結子会社の有形固定資産は、全般的に耐用年数内で安定的に稼働しており、設備等の営繕や維持も定期的、計画的に実施されるため、修繕維持費は今後も平準化の見込みであること。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は1,207百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ817百万円増加しております。

また、残存価額についても、有形固定資産の減価償却方法の変更を契機に当連結グループの会計処理方法を海外連結子会社が適用している方法に統一し、耐用年数で実質的残存価額(備忘価額1円)まで償却する方法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は1,012百万円増加し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ668百万円減少しております。

なお、上記の定額法への変更および残存価額の変更による影響額を合算すると、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は195百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ148百万円増加しております。また、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

- ② 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 平成19年3月30日改正)および「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号 平成19年3月30日改正)を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これに伴う、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

③ 重要なヘッジ会計の方法

当第2四半期連結会計期間において、借入金の一部に対して金利スワップ契約を締結しております。金利スワップに関する当社のヘッジ会計の方法は、次のとおりであります。

a. ヘッジ会計の方法

当社は繰延ヘッジ処理を採用しております。

なお、金利スワップについて特例処理の要件を満たしている場合には特例処理を採用しております。

b. ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段…金利スワップ

ヘッジ対象…借入金

c. ヘッジ方針

当社の借入金に係るヘッジ取引は、社内管理規程に基づき、通常の取引の範囲内において、将来の金利変動リスクの回避（キャッシュ・フローの固定）を目的として行っております。

d. ヘッジの有効性評価の方法

ヘッジ対象のキャッシュ・フロー変動の累計または相場変動とヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計または相場変動を四半期ごとに比較し、両者の変動額等を基礎にして、ヘッジ有効性を評価しております。ただし、特例処理によっている金利スワップについては、有効性の評価を省略しております。

7. 四半期連結財務諸表

1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,969	68,593
受取手形及び売掛金	180,778	172,143
有価証券	83,820	56,287
商品及び製品	29,930	32,070
仕掛品	15,385	12,961
原材料及び貯蔵品	13,376	13,059
繰延税金資産	34,892	35,399
その他	21,328	25,361
貸倒引当金	△330	△308
流動資産合計	444,151	415,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	70,256	70,750
その他(純額)	87,296	76,332
有形固定資産合計	157,553	147,083
無形固定資産		
のれん	177,879	178,671
販売権	158,425	164,247
技術資産	61,745	61,346
その他	12,769	13,424
無形固定資産合計	410,820	417,690
投資その他の資産		
投資有価証券	75,142	89,544
繰延税金資産	58,362	43,650
その他	10,944	10,994
貸倒引当金	△474	△591
投資その他の資産合計	143,974	143,597
固定資産合計	712,348	708,370
資産合計	1,156,499	1,123,939

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,514	18,307
短期借入金	3,000	362,819
未払金	64,323	59,932
未払費用	62,124	56,738
未払法人税等	23,051	16,088
売上割戻引当金	29,667	23,324
その他の引当金	475	437
その他	7,702	5,542
流動負債合計	209,859	543,191
固定負債		
社債	120,679	830
長期借入金	282,499	50,000
繰延税金負債	42,320	40,249
退職給付引当金	23,129	24,104
役員退職慰労引当金	2,252	2,140
負ののれん	1,299	1,461
その他	9,589	8,170
固定負債合計	481,769	126,956
負債合計	691,628	670,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,985	44,985
資本剰余金	56,954	56,966
利益剰余金	424,282	415,961
自己株式	△39,669	△39,694
株主資本合計	486,552	478,219
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,781	9,509
繰延ヘッジ損益	△17	—
為替換算調整勘定	△31,325	△38,868
評価・換算差額等合計	△26,561	△29,359
新株予約権	574	556
少数株主持分	4,304	4,374
純資産合計	464,871	453,791
負債純資産合計	1,156,499	1,123,939

2) 四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	398,828
売上原価	79,219
売上総利益	319,609
返品調整引当金繰入額	0
差引売上総利益	319,609
販売費及び一般管理費(※)	273,064
営業利益	46,544
営業外収益	
受取利息	1,802
受取配当金	566
負ののれん償却額	162
その他	191
営業外収益合計	2,722
営業外費用	
支払利息	3,445
社債発行費	348
為替差損	1,061
持分法による投資損失	53
その他	747
営業外費用合計	5,656
経常利益	43,610
特別利益	
固定資産売却益	10
投資有価証券売却益	432
子会社株式売却益	1,575
その他	1
特別利益合計	2,019
特別損失	
固定資産処分損	142
投資有価証券評価損	1,448
退職給付費用	377
その他	53
特別損失合計	2,022
税金等調整前四半期純利益	43,607
法人税、住民税及び事業税	24,553
法人税等調整額	△9,980
法人税等合計	14,572
少数株主利益	322
四半期純利益	28,712

(第2四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	203,008
売上原価	39,874
売上総利益	163,134
返品調整引当金戻入額	6
差引売上総利益	163,141
販売費及び一般管理費(※)	140,657
営業利益	22,483
営業外収益	
受取利息	1,002
受取配当金	20
負ののれん償却額	81
その他	89
営業外収益合計	1,193
営業外費用	
支払利息	1,930
為替差損	1,301
持分法による投資損失	45
その他	651
営業外費用合計	3,929
経常利益	19,747
特別利益	
固定資産売却益	5
その他	1
特別利益合計	7
特別損失	
固定資産処分損	83
投資有価証券評価損	837
退職給付費用	377
その他	25
特別損失合計	1,324
税金等調整前四半期純利益	18,430
法人税、住民税及び事業税	8,512
法人税等調整額	△2,281
法人税等合計	6,231
少数株主利益	122
四半期純利益	12,076

3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	43,607
減価償却費	24,900
のれん償却額	4,845
その他の損益(△は益)	2,333
売上債権の増減額(△は増加)	△8,788
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,645
仕入債務の増減額(△は減少)	1,954
その他の流動負債の増減額(△は減少)	12,507
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	5,692
その他	1,314
小計	86,721
利息及び配当金の受取額	2,282
利息の支払額	△2,640
法人税等の支払額	△17,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△19,903
無形固定資産の取得による支出	△3,217
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,304
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	6,210
その他	1,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△359,539
長期借入れによる収入	233,812
社債の発行による収入	119,616
配当金の支払額	△18,518
その他	△912
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,542
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,646
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	22,138
現金及び現金同等物の期首残高	119,950
現金及び現金同等物の四半期末残高	142,088

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

5) セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	197,827	5,181	203,008	—	203,008
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	70	5,751	5,822	(5,822)	—
計	197,898	10,932	208,831	(5,822)	203,008
営業利益	22,976	640	23,616	(1,133)	22,483

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	388,450	10,378	398,828	—	398,828
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	129	9,381	9,511	(9,511)	—
計	388,580	19,760	408,340	(9,511)	398,828
営業利益	47,920	846	48,766	(2,222)	46,544

(注) 1 当連結グループの事業区分は、医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」とこれに属さない「その他の分野」であります。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、製薬用機械、その他

3 会計処理の方法の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴い、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、医薬品分野において4,953百万円減少しております。

(有形固定資産の減価償却の方法の変更)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、従来、当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。これに伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、医薬品分野において749百万円、その他の分野において68百万円それぞれ増加しております。

また、残存価額について、耐用年数で実質的残存価額(備忘価額1円)まで償却する方法へ変更したことに伴い、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、医薬品分野において648百万円、その他の分野において20百万円それぞれ減少しております。

なお、上記の定額法への変更および残存価額の変更による影響額を合算すると、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、医薬品分野において101百万円、その他の分野において47百万円それぞれ増加しております。

(2) 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	81,813	97,846	15,136	3,265	4,946	203,008	—	203,008
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	26,277	16,032	7,538	5	115	49,969	(49,969)	—
計	108,091	113,878	22,675	3,270	5,061	252,978	(49,969)	203,008
営業利益	16,919	3,455	1,283	697	1,077	23,433	(950)	22,483

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	166,286	187,381	29,070	6,029	10,060	398,828	—	398,828
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	51,526	30,127	17,187	14	218	99,074	(99,074)	—
計	217,813	217,508	46,258	6,044	10,278	497,903	(99,074)	398,828
営業利益	39,110	3,667	2,160	1,337	2,418	48,694	(2,150)	46,544

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 本邦および中国以外の区分に属する主な国または地域
- ① 北 米：米国、カナダ
 - ② 欧 州：英国、フランス、ドイツ等
 - ③ アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等
- 3 日本におけるセグメント間の内部売上高は、主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高等であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は、主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。
- 4 所在地区分の変更
- 当連結グループは、従来、所在地の区分を、日本、北米、欧州、アジア他としておりましたが、中国の重要性が増したことにより、中国事業担当執行役を任命するなどグループ管理体制を変更いたしました。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、アジア他に含めておりました中国を独立掲記いたしました。この結果、アジア他の売上高および営業利益が、中国の売上高および営業利益とそれぞれ同額減少しております。

5 会計処理の方法の変更

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これに伴い、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、北米において4,759百万円減少しております。欧州、アジア他においての影響は軽微であります。

(有形固定資産の減価償却の方法の変更)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、従来、当社および国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より海外連結子会社が採用している定額法に変更いたしました。これに伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、日本において817百万円増加しております。

また、残存価額について、耐用年数で実質的残存価額(備忘価額1円)まで償却する方法へ変更したことに伴い、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、日本において668百万円減少しております。

なお、上記の定額法への変更および残存価額の変更による影響額を合算すると、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、日本において148百万円増加しております。

(3) 海外売上高

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	北米	欧州	中国	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	100,989	18,779	3,265	5,854	128,888
II 連結売上高(百万円)					203,008
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	49.7	9.3	1.6	2.9	63.5

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	北米	欧州	中国	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	192,382	36,958	6,029	11,915	247,286
II 連結売上高(百万円)					398,828
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	48.2	9.3	1.5	3.0	62.0

- (注) 1 地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 中国以外の区分に属する主な国または地域
 ① 北米：米国、カナダ
 ② 欧州：英国、フランス、ドイツ等
 ③ アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等
 3 海外売上高は当連結グループの本邦以外の国または地域における売上高であります。
 4 所在地区分の変更と同様の理由により、第1四半期連結会計期間より、アジア他に含めておりました中国を独立掲記いたしました。この結果、アジア他の海外売上高が、中国の海外売上高と同額減少しております。

6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

7) 注記事項

【四半期連結損益計算書関係】

(第2四半期連結累計期間)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。	
販売諸費	105,460 百万円
研究開発費	78,049 百万円
給与・賞与	34,087 百万円

(第2四半期連結会計期間)

当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。	
販売諸費	55,234 百万円
研究開発費	42,303 百万円
給与・賞与	17,307 百万円

(参考資料)

前年同四半期に係る連結財務諸表

四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	
区 分	金 額 (百万円)	
I 売上高		362,817
II 売上原価		54,694
売上総利益		308,123
返品調整引当金繰入(△戻入)額		△104
差引売上総利益		308,227
III 販売費及び一般管理費		
1 研究開発費	63,844	
2 販売費・一般管理費	187,321	251,166
営業利益		57,061
IV 営業外収益		
1 受取利息	2,705	
2 受取配当金	495	
3 その他	147	3,348
V 営業外費用		
1 支払利息	57	
2 為替差損	478	
3 持分法による投資損失	16	
4 売上割引	126	
5 その他	169	848
経常利益		59,560
VI 特別利益		
1 固定資産売却益	44	
2 投資有価証券売却益	2,202	
3 その他	10	2,258
VII 特別損失		
1 固定資産処分損	243	
2 減損損失	1	
3 仕掛品原価差損	845	
4 その他	7	1,099
税金等調整前四半期純利益		60,719
法人税、住民税及び事業税	25,350	
法人税等調整額	△4,391	20,958
少数株主利益		409
四半期純利益		39,351

(第2四半期連結会計期間)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日)	
区 分	金 額 (百万円)	
I 売上高		186,783
II 売上原価		27,092
売上総利益		159,690
返品調整引当金繰入(△戻入)額		△6
差引売上総利益		159,697
III 販売費及び一般管理費		
1 研究開発費	33,338	
2 販売費・一般管理費	95,483	128,821
営業利益		30,875
IV 営業外収益		996
V 営業外費用		678
経常利益		31,193
VI 特別利益		40
VII 特別損失		1,064
税金等調整前四半期純利益		30,169
法人税、住民税及び事業税	11,813	
法人税等調整額	△1,830	9,982
少数株主利益		174
四半期純利益		20,012

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
区 分	金 額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	60,719
2 減価償却費	15,364
3 減損損失	1
4 貸倒引当金の増減額(減少:△)	17
5 受取利息及び受取配当金	△3,200
6 支払利息	57
7 持分法による投資損益(利益:△)	16
8 固定資産除売却損益(利益:△)	199
9 有価証券・投資有価証券売却損益(利益:△)	△2,202
10 有価証券・投資有価証券評価損	5
11 売上債権の増減額(増加:△)	△4,515
12 たな卸資産の増減額(増加:△)	△865
13 仕入債務の増減額(減少:△)	△2,211
14 その他流動負債の増減額(減少:△)	4,787
15 売上割戻引当金の増減額(減少:△)	△351
16 退職給付引当金の増減額(減少:△)	△3,694
17 その他	△1,081
小 計	63,045
18 利息及び配当金の受取額	3,141
19 利息の支払額	△52
20 法人税等の支払額	△24,404
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,730
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有価証券の取得による支出	△635
2 有価証券の売却・償還による収入	1,453
3 有形固定資産の取得による支出	△16,443
4 有形固定資産の売却による収入	102
5 無形固定資産の取得による支出	△7,558
6 投資有価証券の取得による支出	△12
7 投資有価証券の売却・償還による収入	10,615
8 買収による支出	△39,166
9 3カ月超預金の純増減額(増加:△)	△35
10 その他	△943
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,625
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額(減少:△)	△245
2 配当金の支払額	△18,468
3 少数株主への配当金の支払額	△60
4 その他	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,776
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△469
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△30,140
VI 現金及び現金同等物の期首残高	171,090
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	140,950

セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結会計期間（自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日）

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	180,595	6,187	186,783	—	186,783
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	53	5,407	5,460	(5,460)	—
計	180,648	11,595	192,244	(5,460)	186,783
営業費用	149,324	10,943	160,267	(4,360)	155,907
営業利益	31,324	651	31,976	(1,100)	30,875

前第2四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	351,449	11,368	362,817	—	362,817
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	95	9,215	9,310	(9,310)	—
計	351,544	20,583	372,127	(9,310)	362,817
営業費用	293,337	19,594	312,932	(7,175)	305,756
営業利益	58,206	989	59,195	(2,134)	57,061

(注) 1 当連結グループの事業区分は、医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」とこれに属さない「その他の分野」であります。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、製薬用機械、その他

(2) 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結会計期間(自平成19年7月1日至平成19年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	79,128	87,389	13,200	7,064	186,783	—	186,783
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	25,458	11,524	6,664	22	43,669	(43,669)	—
計	104,586	98,914	19,865	7,086	230,452	(43,669)	186,783
営業費用	81,712	93,305	19,583	5,634	200,236	(44,329)	155,907
営業利益	22,874	5,608	281	1,451	30,216	659	30,875

前第2四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	157,401	164,182	27,279	13,953	362,817	—	362,817
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	51,818	23,991	12,361	35	88,206	(88,206)	—
計	209,220	188,173	39,640	13,989	451,024	(88,206)	362,817
営業費用	163,376	178,454	38,751	10,875	391,457	(85,701)	305,756
営業利益	45,843	9,719	888	3,114	59,566	(2,505)	57,061

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

① 北米：米国、カナダ

② 欧州：英国、フランス、ドイツ等

③ アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

3 日本におけるセグメント間の内部売上高は、主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高等であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は、主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。

(3) 海外売上高

前第2四半期連結会計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日)

	北 米	欧 州	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	90,321	18,202	7,931	116,455
II 連結売上高(百万円)				186,783
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	48.4	9.7	4.2	62.3

前第2四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	北 米	欧 州	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	169,474	36,951	15,776	222,202
II 連結売上高(百万円)				362,817
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	46.7	10.2	4.3	61.2

(注) 1 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

① 北 米：米国、カナダ

② 欧 州：英国、フランス、ドイツ等

③ アジア他：東アジア・東南アジア諸国および中南米諸国等

3 海外売上高は当連結グループの本邦以外の国または地域における売上高であります。

2008.9

参 考 資 料

平成21年3月期第2四半期決算

2008年10月31日



エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部・IR部

TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、MGI PHARMA, INC.買収に関するリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に係るリスク。

目次

	ページ
1. 連結財務ハイライト	1
2. 連結損益計算書	3
3. 連結キャッシュ・フロー計算書	4
4. セグメント情報	5
5. 連結貸借対照表	10
6. 連結四半期業績の推移	12
7. 個別情報	16
8. 株式の状況	21
9. 子会社・関連会社	23
10. 従業員数	25
11. 主要開発品	26
12. 主なイベント	31

- * 本年7月に発表した通期の業績予想を修正しております。修正箇所には下線を付しております。
- * 当資料中の数字は、切捨表示のある場合を除き四捨五入で表示しております。
- * 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりであります。
- * 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

為替レート

		米国 (円/US\$)	欧州 (円/€)	英国 (円/£)
2008年3月期 第2四半期累計	期中平均レート	119.32	162.29	238.98
	期末日レート	115.43	163.38	234.23
2008年3月期	期中平均レート	114.28	161.52	229.44
	期末日レート	100.19	158.19	200.11
2009年3月期 第2四半期累計	期中平均レート	106.10	162.67	204.94
	期末日レート	103.57	149.05	187.15
2009年3月期	下期予想レート	100.00	135.00	175.00

【本資料の記載項目について】

当社グループでは、企業評価において最も本質的な能力はキャッシュ創出力と考えております。この基本的考え方に基づき、真の収益力を反映することを目的として、企業買収などで発生するのれん償却額や一括費用計上するインプロセス研究開発費、また、有形・無形固定資産の減価償却費、減損損失という非キャッシュ損益項目を調整した「キャッシュ・インカム」「1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）」を表示しております。

* キャッシュ・インカム

成長投資、事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、キャッシュ創出力を表わすもの（企業の成長性・戦略を検証する尺度）であると考えております。

算式：当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額＋減損損失

* 1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）

算式：キャッシュ・インカム÷発行済株式数（自己株式控除後）

* インプロセス研究開発費（IPR&D費）

特定の研究活動の目的で利用され、将来他の目的に使用できない資産であり、研究開発費として一括して計上される費用のことであります。

会計基準等の改正に伴い、本資料に記載している前年同期と比較した指標および金額は、「参考値」として表示しております。

1. 連結財務ハイライト

1) 損益計算書項目

	第2四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
	(億円)				
売上高	3,628	3,988	109.9	7,343	8,060
売上原価	546	792	145.1	1,188	<u>1,606</u>
研究開発費	638	780	122.2	2,254	<u>1,550</u>
販売費・一般管理費	1,873	1,950	104.1	3,723	<u>3,964</u>
営業利益	571	465	81.6	177	<u>940</u>
経常利益	596	436	73.2	189	<u>865</u>
四半期(当期)純利益(△損失)	394	287	73.0	△170	<u>565</u>
キャッシュ・インカム	553	583	105.3	1,055	<u>1,140</u>
			(前年同期差)		
1株当たり配当金(DPS/円)	65.0	70.0	5.0	130.0	140.0
1株当たり四半期(当期)純利益(△損失)(EPS/円)	138.5	100.8	△37.7	△59.8	<u>198.3</u>
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	194.8	204.6	9.8	370.8	<u>400.1</u>

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

<補足資料>

※損益計算書項目(実業ベース)

	第2四半期累計実績				通期予想		
	(GAAPベース)		(実業ベース)		(GAAPベース)		(実業ベース)
	2009年 3月期	企業結合 会計処理	2009年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期(予)	企業結合 会計処理	2009年 3月期(予)
売上高	3,988		3,988	109.9	8,060		8,060
売上原価	792	103	689	126.2	<u>1,606</u>	187	<u>1,419</u>
研究開発費	780	4	776	121.6	<u>1,550</u>	9	<u>1,541</u>
販売費・一般管理費	1,950	46	1,904	101.6	<u>3,964</u>	90	<u>3,874</u>
営業利益	465	(154)	619	108.5	<u>940</u>	(285)	1,225
経常利益	436	(154)	590	99.0	<u>865</u>	(285)	<u>1,150</u>
四半期(当期)純利益	287	(115)	403	102.3	<u>565</u>	(218)	783
				(前年同期差)			
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS/円)	100.8		141.3	2.8	<u>198.3</u>		274.8

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

※実業ベース：企業活動の実態を見るため、GAAPベース(現行の会計基準ベース)から前期のMGI PHARMA, INC. 買収に伴う企業結合会計特有の処理(非キャッシュ項目)を除き算出しております。

[企業結合会計処理の内容]

売上原価：販売権償却費、たな卸資産評価アップ分

研究開発費：技術資産償却費

販売費・一般管理費：のれん償却額

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	第2四半期累計			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	2008年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	417	693	276	732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526	△170	356	△4,764
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188	△255	△68	3,754
現金及び現金同等物の期末残高	1,410	1,421	11	1,200
フリー・キャッシュ・フロー	△213	462	676	△4,159

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

3) 貸借対照表項目

(億円)

	2008年		増減額
	3月末	9月末	
総資産	11,239	11,565	326
負債	6,701	6,916	215
社債	10	1,207	1,197
借入金	4,128	2,855	△1,273
純資産	4,538	4,649	111
自己資本	4,489	4,600	111
自己資本比率(%)	39.9	39.8	△0.2

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	第2四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
資本的支出額	815	208	△607	4,340	<u>430</u>
有形固定資産	136	179	42	398	350
無形固定資産	679	30	△649	3,943	<u>80</u>
減価償却費	154	249	95	346	<u>575</u>

*資本的支出額にはMorphotek, Inc.ならびにMGI PHARMA, INC.買収による資産の増加を含めて表示しております。

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

2. 連結損益計算書

	(億円)						備考
	第2四半期累計						
	2008年 3月期	売上比 %	2009年 3月期	売上比 %	前年同期比 %	増減額	
売上高	3,628	100.0	3,988	100.0	109.9	360	■売上高 ＜増加要因＞ ・アリセプトの伸長、 Aloxi、Dacogenの貢献
売上原価	547	15.1	792	19.9	144.8	245	
返品調整引当金繰入(△戻入)額	△1	△0.1	0	0.0		1	
売上総利益	3,082	85.0	3,196	80.1	103.7	114	
研究開発費	638	17.6	780	19.6	122.2	142	■研究開発費 ＜増加要因＞ ・臨床研究テーマの進捗
販売費・一般管理費	1,873	51.6	1,950	48.9	104.1	77	
営業利益	571	15.7	465	11.7	81.6	△105	
営業外収益	33	0.9	27	0.7		△6	
営業外費用	8	0.2	57	1.4		48	■営業外費用 ＜増加要因＞ ・借入増による支払利息の 増加
経常利益	596	16.4	436	10.9	73.2	△160	
特別利益	23	0.6	20	0.5		△2	
特別損失	11	0.3	20	0.5		9	
税金等調整前四半期純利益	607	16.7	436	10.9	71.8	△171	
法人税、住民税及び事業税	254	7.0	246	6.2	96.9	△8	
法人税等調整額	△44	△1.2	△100	△2.5		△56	
少数株主利益	4	0.1	3	0.1		△1	
四半期純利益	394	10.8	287	7.2	73.0	△106	
<キャッシュ創出力>							
四半期純利益	394	10.8	287	7.2	73.0	△106	
有形・無形固定資産減価償却費	139		140			1	
買収に伴う無形固定資産減価償却費	14		109			95	
インプロセス研究開発費	6		—			△6	
のれん償却額	1		47			46	
減損損失	0		—			△0	
キャッシュ・インカム	553	15.3	583	14.6	105.3	29	

3. 連結キャッシュ・フロー計算書

	(億円)			備考
	第2四半期累計			
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	
税金等調整前四半期純利益	607	436	△171	
減価償却費	154	249	95	
売上債権・仕入債務及びたな卸資産の増減額	△76	△85	△9	
未払金・未払費用等の増減額	48	125	77	
その他	△102	142	244	■その他 ＜増加要因＞ ・売上割戻引当金の増加、 のれん償却額の計上
(小計)	630	867	237	
利息等の受取及び支払額	31	△4	△34	
法人税等の支払額	△244	△170	74	
営業活動によるキャッシュ・フロー	417	693	276	
資本的支出等（買収などを含む）	△631	△231	400	■資本的支出等（買収などを含む） ＜支出減少要因＞ ・前年の企業買収による影響
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	114	49	△65	
その他	△10	12	22	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△526	△170	356	
短期借入金の純増減額	△2	△3,595	△3,593	■短期借入金の純増減額 ■長期借入れによる収入 ■社債の発行による収入 ＜増減要因＞ ・買収資金 （短期から長期へシフト）
長期借入れによる収入	-	2,338	2,338	
社債の発行による収入	-	1,196	1,196	
配当金の支払額	△185	△185	△1	
その他	△1	△9	△9	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188	△255	△68	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△46	△42	
現金及び現金同等物の増減額	△301	221	523	
現金及び現金同等物の期首残高	1,711	1,200	△511	
現金及び現金同等物の期末残高	1,410	1,421	11	
フリー・キャッシュ・フロー	△213	462	676	

*フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（買収などを含む））

4. セグメント情報

1) 事業の種類別/所在地別売上高

	第2四半期累計		(億円)
			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
売上高	3,628	3,988	7,343
医薬品分野	3,514	3,885	7,118
日本	1,470	1,575	2,927
北米	1,637	1,865	3,382
欧州	267	284	532
中国	47	60	95
アジア他	92	101	183
その他の分野	114	104	224
日本	104	88	200
海外	10	16	24

*外部顧客に対する売上高であります。

*日本および中国以外の地域区分は、次のとおりであります。

①北米：米国、カナダ

②欧州：英国、フランス、ドイツ等

③アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等

2) 事業の種類別営業利益

	第2四半期累計		(億円)
			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
営業利益	571	465	177
医薬品分野	582	479	198
その他の分野	10	8	19
消去又は全社	△21	△22	△40

*前期のMGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理（非キャッシュ項目）を除いて算出した「実業ベース」での医薬品分野の2009年3月期第2四半期累計の営業利益は633億円であります。

3) 所在地別セグメント情報

(1) 所在地別売上高

	第2四半期累計		通期
	2008年	2009年	2008年
	3月期	3月期	3月期
売上高	3,628	3,988	7,343
日本	1,574	1,663	3,127
北米	1,642	1,874	3,394
欧州	273	291	544
中国	47	60	95
アジア他	92	101	183
海外計	2,054	2,325	4,216
海外比率 (%)	56.6	58.3	57.4

*外部顧客に対する売上高であります。

(2) 所在地別営業利益

	第2四半期累計		通期
	2008年	2009年	2008年
	3月期	3月期	3月期
営業利益	571	465	177
日本	458	391	805
北米	97	37	△669
欧州	9	22	18
中国	11	13	20
アジア他	20	24	37
消去又は全社	△25	△22	△33

*前期のMGI PHARMA, INC.買収に伴う企業結合会計特有の処理（非キャッシュ項目）を除いて算出した「実業ベース」での北米の2009年3月期第2四半期累計の営業利益は190億円であります。

4) 海外売上高

	第2四半期累計		通期
	2008年	2009年	2008年
	3月期	3月期	3月期
売上高	3,628	3,988	7,343
海外売上高	2,222	2,473	4,546
北米	1,695	1,924	3,504
欧州	370	370	731
中国	47	60	95
アジア他	111	119	215
海外売上高比率 (%)	61.2	62.0	61.9

*本頁における日本および中国以外の地域区分は、次のとおりであります。

- ①北米：米国、カナダ
- ②欧州：英国、フランス、ドイツ等
- ③アジア他：中国を除くアジア諸国および中南米諸国等

5) 連結主力製品売上高 (自社)

(1) アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)

		第2四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
日本	億円	300	383	623
米国	億円 (百万US\$)	895 (750)	933 (879)	1,869 (1,635)
欧州	億円	173	167	333
英国	億円 (百万£)	6 (3)	20 (10)	14 (6)
フランス	億円 (百万€)	129 (79)	101 (62)	243 (151)
ドイツ	億円 (百万€)	38 (23)	45 (28)	76 (47)
中国	億円 (百万元)	4 (25)	4 (29)	12 (75)
アジア (日本・中国除く)	億円	36	40	74
総計	億円	1,409	1,526	2,910

*2009年3月期の売上高の総計は3,140億円を見込んでおります。

(2) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤)

		第2四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
日本	億円	183	217	371
米国	億円 (百万US\$)	664 (556)	529 (498)	1,247 (1,091)
欧州	億円	46	51	86
英国	億円 (百万£)	15 (6)	13 (7)	22 (9)
ドイツ	億円 (百万€)	9 (5)	13 (8)	18 (11)
イタリア	億円 (百万€)	23 (14)	23 (14)	45 (28)
中国	億円 (百万元)	4 (24)	3 (21)	7 (43)
アジア (日本・中国除く)	億円	26	26	48
総計	億円	922	826	1,759

*2009年3月期の売上高の総計は1,610億円を見込んでおります。

*中国 (元) 為替レートは次のとおりであります。

2007年4月～9月	期中平均レート	15.66円/元
2008年4月～9月	期中平均レート	15.38円/元
2007年4月～2008年3月	期中平均レート	15.30円/元

(3) メチコバル (末梢性神経障害治療剤)

		第2四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
日本	億円	162	160	317
アジア (中国含む)	億円	37	48	71
総計	億円	198	208	387

(4) Aloxi (制吐剤)

		第2四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	189 (178)	65 (62)

(5) Dacogen (DNAメチル化阻害剤)

		第2四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	87 (82)	27 (26)

(6) ソネグラン (てんかん治療剤)

		第2四半期累計		通期
		2008年 3月期	2009年 3月期	2008年 3月期
米国	億円 (百万US\$)	14 (12)	10 (10)	22 (19)
欧州	億円	15	20	32
アジア	億円	1	1	2
総計	億円	30	31	56

6) 人件費、販売費、管理費他

	第2四半期累計		通期
	2008年	2009年	2008年
	3月期	3月期	3月期
売上高	3,628	3,988	7,343
販売費・一般管理費	1,873	1,950	3,723
人件費	372	422	771
販売費	1,231	1,210	2,419
管理費他	270	318	533
売上高比率 (%)	51.6	48.9	50.7

7) Eisai Inc. (米国)

		第2四半期累計		通期
		2008年	2009年	2008年
		3月期	3月期	3月期
売上高	億円 (百万US\$)	1,661 (1,392)	1,728 (1,629)	3,327 (2,911)
営業利益	億円 (百万US\$)	107 (90)	120 (114)	252 (221)
四半期(当期)純利益	億円 (百万US\$)	75 (63)	78 (74)	171 (149)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万US\$)	415 (348)	420 (396)	877 (767)

*2008年7月よりMGI PHARMA, INC.の販売機能がEisai Inc.に統合されました。この統合に伴う売上高142百万US\$ (151億円)が含まれております。

5. 連結貸借対照表

1) 貸借対照表<資産の部>

(億円)

	2008年 3月末	構成比 %	2008年 9月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動資産	4,156	37.0	4,442	38.4	106.9	286	
現金及び預金	686		650			△36	■現金及び預金+有価証券 <増加要因> ・営業収入の増加
受取手形及び売掛金	1,721		1,808			86	
有価証券	563		838			275	
たな卸資産	581		587			6	
繰延税金資産	354		349			△5	
その他	254		213			△40	
貸倒引当金	△3		△3			△0	
固定資産	7,084	63.0	7,123	61.6	100.6	40	
有形固定資産	1,471	13.1	1,576	13.6	107.1	105	
建物及び構築物	708		703			△5	
機械装置及び運搬具	231		221			△10	
土地	208		207			△1	
建設仮勘定	198		310			112	
その他	126		135			9	
無形固定資産	4,177	37.1	4,108	35.5	98.4	△69	
のれん	1,787		1,779			△8	
販売権	1,642		1,584			△58	
技術資産	613		617			4	
その他	134		128			△7	
投資その他の資産	1,436	12.8	1,440	12.4	100.3	4	
投資有価証券	895		751			△144	■投資有価証券 <減少要因> ・保有株式の時価下落
繰延税金資産	437		584			147	
その他	110		109			△1	
貸倒引当金	△6		△5			1	
資産合計	11,239	100.0	11,565	100.0	102.9	326	

2) 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2008年 3月末	構成比 %	2008年 9月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動負債	5,432	48.3	2,099	18.1	38.6	△3,333	
支払手形及び買掛金	183		195			12	
短期借入金	3,628		30			△3,598	■短期借入金 <減少要因> ・社債・長期借入金ヘシフト
未払金・未払費用	1,167		1,264			98	
未払法人税等	161		231			70	
売上割戻引当金	233		297			63	
その他	60		82			22	
固定負債	1,270	11.3	4,818	41.7	379.5	3,548	
社債	8		1,207			1,198	■社債 <増加要因> ・無担保普通社債の発行
長期借入金	500		2,825			2,325	■長期借入金 <増加要因> ・買収に伴う資金調達
繰延税金負債	402		423			21	
退職給付引当金	241		231			△10	
役員退職慰労引当金	21		23			1	
その他	96		109			13	
負債合計	6,701	59.6	6,916	59.8	103.2	215	
株主資本	4,782	42.5	4,866	42.1	101.7	83	
資本金	450		450			—	
資本剰余金	570		570			△0	
利益剰余金	4,160		4,243			83	
自己株式	△397		△397			0	
評価・換算差額等	△294	△2.6	△266	△2.3	—	28	
その他有価証券評価差額金	95		48			△47	
繰延ヘッジ損益	—		△0			△0	
為替換算調整勘定	△389		△313			75	
新株予約権	6	0.1	6	0.0	103.3	0	
少数株主持分	44	0.4	43	0.4	98.4	△1	
純資産合計	4,538	40.4	4,649	40.2	102.4	111	
負債純資産合計	11,239	100.0	11,565	100.0	102.9	326	

6. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

	2008年3月期				2009年3月期	
	第1	第2	第3	第4	第1	第2
	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期
売上高	1,760	1,868	1,967	1,747	1,958	2,030
売上原価	275	271	289	353	394	399
研究開発費	305	333	357	1,259	357	423
販売費・一般管理費	918	955	966	884	967	984
営業利益(△損失)	262	309	355	△748	241	225
営業外収支	22	3	12	△26	△2	△27
経常利益(△損失)	284	312	367	△774	239	197
特別損益	22	△10	△4	△20	13	△13
税金等調整前四半期純利益(△損失)	306	302	363	△794	252	184
四半期純利益(△損失)	193	200	242	△805	166	121
キャッシュ・インカム	273	281	321	181	312	271
1株当たり四半期(当期)純利益(△損失)(EPS/円)	68.1	70.4	84.9	△283.2	58.4	42.4
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	96.0	98.8	112.7	63.4	109.6	95.0

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

	2008年3月期				2009年3月期	
	第1	第2	第3	第4	第1	第2
	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期	四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	339	101	214	186	508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460	△67	△92	△4,146	△77	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187	△1	13	3,928	△200	△55
現金及び現金同等物の期末残高	1,196	1,410	1,417	1,200	1,130	1,421
フリー・キャッシュ・フロー	△461	248	△17	△3,928	63	400

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

3) 貸借対照表項目

<資産の部>

(億円)

	2008年3月期				2009年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
流動資産	3,960	4,209	4,309	4,156	4,334	4,442
固定資産	3,897	3,968	4,024	7,084	7,319	7,123
有形固定資産	1,353	1,375	1,414	1,471	1,550	1,576
無形固定資産	1,040	1,216	1,204	4,177	4,303	4,108
投資その他の資産	1,504	1,377	1,406	1,436	1,466	1,440
資産合計	7,857	8,176	8,333	11,239	11,653	11,565

<負債及び純資産の部>

(億円)

	2008年3月期				2009年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
負債	2,172	2,425	2,568	6,701	6,915	6,916
流動負債	1,806	1,918	2,057	5,432	3,671	2,099
固定負債	367	508	511	1,270	3,244	4,818
純資産	5,685	5,751	5,765	4,538	4,739	4,649
株主資本	5,280	5,489	5,587	4,782	4,745	4,866
評価・換算差額等	300	154	128	△294	△54	△266
新株予約権	3	6	6	6	6	6
少数株主持分	102	103	45	44	43	43
負債純資産合計	7,857	8,176	8,333	11,239	11,653	11,565

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2008年3月期				2009年3月期	
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
資本的支出額	462	353	111	3,414	85	123
有形固定資産	39	97	89	172	75	103
無形固定資産	423	256	22	3,242	10	20
減価償却費	73	81	80	112	123	126

*資本的支出額にはMorphotek, Inc.ならびにMGI PHARMA, INC.買収による資産の増加を含めて表示しております。

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) アリセプト売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
日本	億円	149	151	189	133	194	188
米国	億円 (百万US\$)	415 (343)	480 (407)	480 (423)	494 (463)	434 (415)	499 (464)
欧州	億円	92	81	90	69	80	87
英国	億円 (百万£)	3 (1)	3 (1)	4 (2)	3 (2)	7 (4)	13 (6)
フランス	億円 (百万€)	70 (43)	59 (36)	66 (40)	48 (31)	51 (31)	50 (31)
ドイツ	億円 (百万€)	19 (12)	19 (12)	20 (12)	18 (11)	21 (13)	24 (15)
中国	億円 (百万元)	0 (3)	3 (22)	3 (17)	5 (33)	1 (9)	3 (20)
アジア (日本・中国除く)	億円	17	19	20	18	20	20
総計	億円	673	735	782	719	729	796

6) パリエット/アシフェックス売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
日本	億円	89	93	112	76	110	106
米国	億円 (百万US\$)	318 (263)	346 (293)	331 (292)	252 (243)	259 (248)	270 (251)
欧州	億円	25	21	19	20	25	26
英国	億円 (百万£)	8 (3)	7 (3)	4 (2)	4 (2)	6 (3)	7 (3)
ドイツ	億円 (百万€)	5 (3)	3 (2)	4 (2)	5 (3)	6 (4)	7 (4)
イタリア	億円 (百万€)	12 (7)	11 (7)	11 (7)	12 (7)	12 (7)	12 (7)
中国	億円 (百万元)	2 (14)	2 (10)	1 (9)	1 (10)	1 (9)	2 (13)
アジア (日本・中国除く)	億円	14	12	13	10	13	13
総計	億円	449	473	477	360	408	417

7) メチコバル売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
日本	億円	82	80	91	64	83	77
アジア (中国含む)	億円	18	18	17	17	24	24
総計	億円	101	98	108	81	107	101

8) Aloxi 売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	— (—)	— (—)	65 (62)	95 (90)	95 (88)

9) Dacogen 売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
米国	億円 (百万US\$)	— (—)	— (—)	— (—)	27 (26)	44 (42)	43 (40)

10) ソネグラン売上高 (自社)

		2008年3月期				2009年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
米国	億円 (百万US\$)	7 (6)	7 (6)	4 (4)	4 (4)	5 (4)	6 (5)
欧州	億円	7	8	9	8	10	10
アジア	億円	0	0	0	1	1	1
総計	億円	15	16	14	12	15	16

11) Eisai Inc. (米国)

		2008年3月期				2009年3月期	
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
売上高	億円 (百万US\$)	778 (644)	883 (748)	867 (764)	799 (756)	748 (716)	980 (913)
営業利益	億円 (百万US\$)	36 (29)	71 (60)	74 (65)	71 (66)	40 (39)	81 (75)
四半期純利益	億円 (百万US\$)	26 (22)	49 (41)	50 (44)	46 (43)	26 (25)	52 (48)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万US\$)	180 (149)	235 (199)	236 (207)	226 (212)	181 (174)	239 (222)

*2008年7月よりMGI PHARMA, INC.の販売機能がEisai Inc.に統合されました。この統合に伴う売上高142百万US\$ (151億円) が含まれております。

7. 個別情報

1) 個別財務ハイライト

(1) 損益計算書項目

(億円)

	第2四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
売上高	1,949	2,041	104.8	3,892	<u>4,050</u>
売上原価	391	413	105.8	760	<u>790</u>
研究開発費	619	710	114.7	1,340	<u>1,415</u>
販売費・一般管理費	522	569	109.0	1,061	<u>1,145</u>
営業利益	417	349	83.7	731	<u>700</u>
経常利益	419	323	77.0	710	<u>625</u>
四半期(当期)純利益	282	260	92.3	460	<u>465</u>

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

(2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	第2四半期累計			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	2008年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	224	316	91	367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144	649	793	△4,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184	△995	△812	3,758
現金及び現金同等物の期末残高	362	246	△116	277
フリー・キャッシュ・フロー	100	220	119	96

*フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(買収などを含む))

(3) 貸借対照表項目

(億円)

	2008年		増減額
	3月末	9月末	
総資産	9,773	9,080	△693
負債	5,059	4,344	△715
純資産	4,714	4,736	22
自己資本	4,708	4,730	22
自己資本比率(%)	48.2	52.1	3.9

(4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	第2四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	増減額	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
資本的支出額	94	75	△19	249	<u>160</u>
有形固定資産	39	57	19	152	110
無形固定資産	55	17	△38	97	<u>50</u>
減価償却費	85	87	2	178	<u>160</u>

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

2) 売上高の状況

(億円)

	第2四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
売上高	1,949	2,041	104.8	3,892	<u>4,050</u>
医療用医薬品	1,170	1,290	110.3	2,318	<u>2,565</u>
医薬品輸出	305	289	94.8	607	<u>525</u>
一般用医薬品等	95	95	100.0	201	200
その他の分野（食品添加物、化学品）	7	7	108.1	14	15
工業所有権等収益	373	361	96.7	753	<u>745</u>

3) 地域別輸出状況

(億円)

	第2四半期累計			通期
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期
売上高	1,949	2,041	104.8	3,892
輸出高	676	647	95.8	1,356
北米	484	459	94.7	980
欧州	158	144	90.7	297
アジア他（中国含む）	33	45	135.4	79
売上高比率（%）	34.7	31.7	—	34.8

*地域区分は次のとおりであります。

- ①北米：米国、カナダ
- ②欧州：英国、フランス、ドイツ等
- ③アジア他：アジア諸国および中南米諸国等

*輸出高には工業所有権等収益を含めて表示しております。

4) 医療用医薬品主力製品売上高

(億円)

	第2四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
アルツハイマー型認知症治療剤	300	383	127.4	623	<u>770</u>
アリセプト					
プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤	183	217	118.7	371	<u>435</u>
パリエット					
末梢性神経障害治療剤	162	160	98.7	317	<u>300</u>
メチコパール					
胃炎・胃潰瘍治療剤	94	82	87.4	182	160
セルベックス					
骨粗鬆症治療剤	48	44	90.9	82	100
アクトネル					
筋緊張改善剤	42	40	95.8	80	<u>75</u>
ミオナール					
非イオン性造影剤	41	37	90.4	79	75
イオメロン					
骨粗鬆症治療用ビタミンK ₂ 剤	35	29	81.9	64	55
グラケー					
消化管検査前処置・低血糖治療剤	20	19	94.1	39	35
グルカゴンG・ノボ					
虚血性心疾患治療剤	18	16	89.2	34	30
ニトロールR					
その他	227	264	116.5	447	<u>530</u>
医療用医薬品計	1,170	1,290	110.3	2,318	<u>2,565</u>

5) 医薬品輸出高

(億円)

	第2四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
アリセプト	142	141	99.2	281	245
パリエット/アシフェックス	129	111	86.0	251	210
その他	34	38	109.3	75	<u>70</u>
医薬品輸出計	305	289	94.8	607	<u>525</u>

6) 一般用医薬品等主力製品グループ売上高

(億円)

	第2四半期累計			通期	
	2008年 3月期	2009年 3月期	前年同期比 %	2008年 3月期	2009年 3月期(予)
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」等	47	51	107.2	95	100
チョコラBBグループ					
メコバラミン主剤「ナボリンEB錠」等	11	11	100.7	23	25
ナボリングループ					
天然ビタミンE剤「ユベラックスα2」等	8	8	94.0	17	15
ビタミンEグループ					
緑の胃ぐすり「サクロン」等	7	8	101.9	16	15
サクロングループ					
その他	21	18	85.1	51	45
一般用医薬品等計	95	95	100.0	201	200

7) 売上原価の状況

(1) 売上原価の明細

	第2四半期累計		通期
	2008年	2009年	2008年
	3月期	3月期	3月期
売上高	1,949	2,041	3,892
売上原価	392	413	761
期首製品・商品棚卸高 (+)	152	159	152
当期製品製造原価 (+)	190	193	383
当期商品仕入高 (+)	131	163	261
他勘定振替高 (+)	70	61	124
期末製品・商品棚卸高 (-)	152	163	159
売上原価率 (%)	20.1	20.2	19.6
返品調整引当金繰入 (△戻入) 額	△1	△2	△1
売上総利益	1,558	1,626	3,132

(2) 製造原価の明細

	第2四半期累計		通期
	2008年	2009年	2008年
	3月期	3月期	3月期
当期製造総費用	221	224	442
原材料費	77	83	147
労務費	55	56	109
経費	88	85	186
期首仕掛品半製品棚卸高 (+)	94	93	94
期末仕掛品半製品棚卸高 (-)	94	99	93
他勘定振替高 (+)	△30	△25	△59
当期製品製造原価	190	193	383

8) 海外研究開発費、人件費・販売費・管理費他

	第2四半期累計		通期
	2008年	2009年	2008年
	3月期	3月期	3月期
研究開発費	619	710	1,340
海外研究開発費	350	417	771
(海外比率) (%)	(56.5)	(58.7)	(57.5)
販売費・一般管理費	522	569	1,061
人件費	158	165	315
販売費	227	269	462
管理費他	137	135	285
販売費及び一般管理費 (研究開発費を含む)	1,141	1,279	2,401
売上高比率 (%)	58.5	62.6	61.7

9) 貸借対照表項目

<資産の部>

	2008年		増減額
	3月末	9月末	
流動資産	3,061	2,283	△778
固定資産	6,711	6,797	86
有形固定資産	834	851	17
無形固定資産	335	322	△13
投資その他の資産	5,543	5,624	82
資産合計	9,773	9,080	△693

<負債及び純資産の部>

	2008年		増減額
	3月末	9月末	
負債合計	5,059	4,344	△715
流動負債	4,343	828	△3,515
固定負債	716	3,516	2,800
純資産	4,714	4,736	22
株主資本	4,612	4,687	75
評価・換算差額等	96	43	△53
新株予約権	6	6	0
負債純資産合計	9,773	9,080	△693

8. 株式の状況

1) 発行株式数・株主数の状況

2008年9月30日現在

発行可能株式総数	発行済株式の総数	(自己株式数)	株主数	株主1人当たりの平均持株数
1,100,000,000株	296,566,949株	11,656,846株	62,747人	4,726株

*発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しております。

2) 大株主の状況

2008年9月30日現在

株主名	持株数	持株比率
日本生命保険相互会社	15,344千株	5.17%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15,165千株	5.11%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,747千株	4.97%
株式会社埼玉りそな銀行	12,398千株	4.18%
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エスエル オムニバス アカウント	10,407千株	3.51%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	7,777千株	2.62%
エーザイ従業員持株会	5,847千株	1.97%
野村證券株式会社	5,098千株	1.72%
住友生命保険相互会社	5,015千株	1.69%
株式会社みずほコーポレート銀行	4,680千株	1.58%

*自己株式は11,656千株(3.93%)であり、議決権がないため大株主上位10位から除いております。

*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

3) 所有者別株主数推移

	2008年 3月末	構成比 %	2008年 9月末	構成比 %	増減
金融機関	217人	0.3	204人	0.3	△13人
金融商品取引業者(証券会社)	74人	0.1	58人	0.1	△16人
その他の法人	1,300人	2.0	1,172人	1.9	△128人
外国法人等	493人	0.7	498人	0.8	5人
個人・その他	64,846人	96.9	60,815人	96.9	△4,031人
合計	66,930人	100.0	62,747人	100.0	△4,183人

4) 所有者別所有株式数推移

	2008年 3月末	構成比 %	2008年 9月末	構成比 %	増減
金融機関	117,703千株	39.7	122,274千株	41.2	4,570千株
金融商品取引業者(証券会社)	15,233千株	5.2	12,834千株	4.3	△2,398千株
その他の法人	22,884千株	7.7	23,312千株	7.9	427千株
外国法人等	76,479千株	25.8	74,203千株	25.0	△2,276千株
自己株式	11,665千株	3.9	11,656千株	3.9	△8千株
個人・その他	52,600千株	17.7	52,285千株	17.6	△315千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

5) 所有株数別株主数推移

	2008年 3月末	構成比 %	2008年 9月末	構成比 %	増減
100万株以上	52人	0.1	50人	0.1	△2人
10万～100万株未満	184人	0.3	162人	0.3	△22人
1万～10万株未満	801人	1.2	818人	1.3	17人
1,000～1万株未満	12,452人	18.6	12,414人	19.8	△38人
100～1,000株未満	49,160人	73.4	44,937人	71.6	△4,223人
100株未満	4,281人	6.4	4,366人	7.0	85人
合計	66,930人	100.0	62,747人	100.0	△4,183人

6) 所有株数別分布推移

	2008年 3月末	構成比 %	2008年 9月末	構成比 %	増減
100万株以上	181,692千株	61.3	191,265千株	64.5	9,573千株
10万～100万株未満	57,209千株	19.3	47,538千株	16.0	△9,670千株
1万～10万株未満	20,176千株	6.8	21,020千株	7.1	843千株
1,000～1万株未満	26,253千株	8.8	26,064千株	8.8	△189千株
100～1,000株未満	11,056千株	3.7	10,499千株	3.5	△557千株
100株未満	177千株	0.1	177千株	0.1	△0千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

*株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

9. 子会社・関連会社

1) 連結子会社 (63社)

(1) 海外 (52社)

2008年9月30日現在

会社名	所在地	資本金または 出資金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
Eisai Corporation of North America	米国 ニュージャージー州	3,416,700 千US\$	100.00	米州統括・持株会社
Morphotek, Inc.	米国 ペンシルバニア州	355,000 千US\$	100.00	医薬品の探索・臨床研究
Eisai Inc.	米国 ニュージャージー州	151,600 千US\$	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai Research Institute of Boston Inc.	米国 マサチューセッツ州	115,300 千US\$	100.00	医薬品の探索研究、治験用 原薬の工業化研究・製造
Eisai Medical Research Inc.	米国 ニュージャージー州	1,000 千US\$	100.00	医薬品の臨床研究
Eisai Machinery U.S.A. Inc.	米国 ニュージャージー州	1,000 千US\$	100.00	製薬用機械の販売
Eisai Europe Ltd.	英国 ロンドン	137,261 千£	100.00	欧州統括・持株会社
Eisai Ltd.	英国 ロンドン	15,548 千£	100.00	医薬品の臨床研究・販売
Eisai London Research Laboratories Ltd.	英国 ロンドン	13,000 千£	100.00	医薬品の探索研究
Eisai Manufacturing Ltd.	英国 ハートフォード州	5,000 千£	100.00	—
Eisai GmbH	ドイツ フランクフルト	7,669 千€	100.00	医薬品の販売
Eisai Machinery GmbH	ドイツ ケルン	1,278 千€	100.00	製薬用機械の製造・販売
Eisai S.A.S.	フランス パリ	19,500 千€	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai B.V.	オランダ アムステルダム	540 千€	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai Farmacéutica S.A.	スペイン マドリッド	4,000 千€	100.00	医薬品の販売
Eisai S.r.l.	イタリア ミラノ	3,500 千€	100.00	医薬品の販売
Eisai Pharma AG	スイス チューリッヒ	3,000 千CHF	100.00	医薬品の販売
Eisai AB	スウェーデン ストックホルム	10,000 千SEK	100.00	医薬品の販売
EF-Eisai Farmacéutica, Unipessoal Lda.	ポルトガル リスボン	4,000 千€	100.00	医薬品の販売
Eisai SA/NV	ベルギー ブリュッセル	7,000 千€	100.00	—
衛材(中国)薬業有限公司	中国 江蘇省	319,205 千人民元	100.00	医薬品の製造・販売
衛材機械科技発展(上海)有限公司	中国 上海	200 千US\$	100.00	製薬用機械の販売支援・ メンテナンス
PT Eisai Indonesia	インドネシア ジャカルタ	5,000 千US\$	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai Asia Regional Services Pte. Ltd.	シンガポール	26,400 千S\$	100.00	アジア統括・持株会社
Eisai (Singapore) Pte. Ltd.	シンガポール	300 千S\$	100.00	医薬品の販売
Eisai Clinical Research Singapore Pte. Ltd.	シンガポール	10 千S\$	100.00	医薬品の臨床研究
Eisai (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア ペタリンジャヤ	470 千M\$	100.00	医薬品の販売
Eisai (Thailand) Marketing Co., Ltd.	タイ バンコク	11,000 千B	49.90	医薬品の製造・販売
衛采製薬股份有限公司	台湾 台北	270,000 千NT\$	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai (Hong Kong) Co., Ltd.	中国 香港	500 千HK\$	100.00	医薬品の販売
Eisai Korea Inc.	韓国 ソウル	3,512 百万W	100.00	医薬品の販売
HI-Eisai Pharmaceutical Inc.	フィリピン マニラ	56,250 千PhP	50.00	医薬品の製造・販売
Eisai Pharmaceuticals India Pvt. Ltd.	インド マハラシュトラ州	160,000 千INR	100.00	医薬品の製造・販売
Eisai Pharmatechnology & Manufacturing Pvt. Ltd.	インド アンドラ・プラデシュ州	904,000 千INR	100.00	—
Eisai Australia Pty. Ltd.	オーストラリア シドニー	1,000 千A\$	100.00	—

(その他17社)

*当社の連結子会社は衛材(中国)薬業有限公司(12月決算)を除き3月決算であります。なお、衛材(中国)薬業有限公司は2007年3月期(通期)より連結決算日での仮決算を行っております。

*Eisai (Thailand) Marketing Co., Ltd.、HI-Eisai Pharmaceutical Inc. の持分は100分の50以下ではありますが、実質的に支配しているため、連結子会社としております。

*MGI PHARMA, INC.の事業は米国連結子会社に承継されました。

*その他17社はMGI PHARMA, INC.およびその子会社であり、連結の範囲に含めております。

*2008年4月に製薬用機械販売支援・メンテナンス会社である衛材機械科技発展(上海)有限公司を中国に設立いたしました。

*資本金または出資金は切捨てて表示しております。

(2) 国内 (11社)

2008年9月30日現在

会社名	所在地	資本金または 出資金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
三光純薬株式会社	東京都千代田区	5,262 百万円	100.00	診断用医薬品等の製造・販売
サンノーバ株式会社	群馬県太田市	926 百万円	79.95	医薬品の製造・販売
エルメッド エーザイ株式会社	東京都豊島区	450 百万円	100.00	医薬品の販売
エーザイフード・ケミカル株式会社	東京都中央区	101 百万円	100.00	食品添加物、化学品等の販売
エーザイマシナリー株式会社	東京都文京区	100 百万円	100.00	製薬用機械等の製造・販売
株式会社カン研究所	兵庫県神戸市	70 百万円	100.00	医薬品の探索研究
エーザイ物流株式会社	神奈川県厚木市	60 百万円	100.00	医薬品の搬送
株式会社パルマビーズ研究所	東京都千代田区	50 百万円	100.00	診断用医薬品等の研究
エーザイ・アール・アンド・ディー・ マネジメント株式会社	東京都文京区	11 百万円	100.00	医薬品の研究開発の管理・運営
株式会社サンブラネット	東京都文京区	455 百万円	84.93	業務サービス、給食、印刷、 不動産の管理
エーザイ生科研株式会社	東京都文京区	50 百万円	70.00	農業用資材の製造・販売

*2008年6月に当社が所有する株式会社クリニカル・サプライの全株式を譲渡いたしました。

*資本金または出資金は切捨てて表示しております。

2) 持分法適用関連会社 (1社)

2008年9月30日現在

会社名	所在地	資本金または 出資金	議決権の 所有割合 %	主な事業内容
ブラック・エーザイ株式会社	東京都文京区	340 百万円	49.00	造影剤の輸入・製造・販売

*ブラック・エーザイ株式会社は12月決算であります。

*資本金または出資金は切捨てて表示しております。

10. 従業員数

1) 連結従業員数

	2006年 3月末	2007年 3月末	2008年 3月末	(人) 2008年 9月末
連結期末従業員数	9,081	9,649	10,686	11,035
日本	5,144	5,334	5,453	5,641
米国	1,787	1,975	2,699	2,711
欧州	650	765	861	918
中国	742	777	834	921
アジア他（日本・中国除く）	758	798	839	844

2) 個別従業員、個別人件費の状況

	2006年 3月末	2007年 3月末	2008年 3月末	(人) 2008年 9月末
期末従業員数	3,906	4,050	4,137	4,352
生産	817	819	800	814
研究	1,032	1,101	1,123	1,176
販売・管理	2,057	2,130	2,214	2,362
全社人件費（億円）	640	609	579	302

*期末従業員数は、就業人員数（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む）を表示しております。

1 1 . 主要開発品

1) 開発ステージ別一覧

(1) 承認取得品

製品名、 開発品コード	薬効/作用	地域	承認時期	剤形
ヒュミラ (D2E7)	関節リウマチ治療剤/ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体	日本	2008年4月	注射
イオメロン (E7337)	【用法・用量、剤形追加】肝臓領域のダイナミックコンピューター断層撮影における造影に関する用法・用量、剤形の追加	日本	2008年5月	注射
アシフェックス (E3810)	【適応追加】青年期胃食道逆流症における短期治療の効能・効果追加	米国	2008年6月	経口
Aloxi (E3270)	【剤形追加】がん化学療法に伴う急性悪心・嘔吐予防での経口剤の剤形追加	米国	2008年8月	経口
ガスモチン	消化管運動機能改善剤 (一般名:モサプリド)	タイ	2008年9月	経口

(2) 申請中・申請準備中開発品

製品名、 開発品コード	薬効/作用	地域	申請(予定)時期	剤形
アリセプト (E2020)	【適応追加】脳血管性認知症の効能・効果追加	米国 (欧州)	2002年11月 申請準備中)	経口
T-614	関節リウマチ治療剤 (一般名:イグラチモド)	日本	2003年9月	経口
アリセプト (E2020)	【剤形追加】液剤の剤形追加	欧州	2004年5月	経口
ルフィナマイド (E2080)	てんかん治療剤 (一般名:ルフィナマイド)	米国	2006年1月	経口
E2014	痙性斜頸治療剤 (一般名:B型ボツリヌス毒素)	日本	2006年12月	注射
ガスモチン	消化管運動機能改善剤 (一般名:モサプリド)	アジア*	2007年5月	経口
クレブジン	慢性B型肝炎治療剤 (一般名:クレブジン)	アジア*	2007年5月	経口
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】乾癬の効能・効果追加	日本	2007年9月	注射
KES524	肥満症治療剤/脳内セロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害 (一般名:シブトラミン)	日本	2007年11月	経口
fospropofol (E2083)	鎮静剤/大腸内視鏡検査、気管支内視鏡検査など簡便な診断・治療の際の鎮静 (一般名:fospropofol)	米国	2007年12月	注射
アリセプト (E2020)	【剤形追加】ゼリー製剤の剤形追加	日本	2008年3月	経口
グルファスト	速効型インスリン分泌促進剤 (一般名:ミチグリニド)	アジア*	2008年3月	経口
Dacogen (E7373)	【用法・用量追加】骨髄異形成症候群(MDS)5日間投与の用法・用量追加	米国	2008年度 (申請予定)	注射
バリエット (E3810)	【適応追加】非びらん性胃食道逆流症の効能・効果追加	日本	2008年度 (再申請予定)	経口

: 2008年7月以降の進捗

* アジア地域の申請中、申請準備中の対象国は「2) 領域別一覧」(P29 ~ P30)に記載しております。

(3) 臨床試験中開発品 (フェーズ ~ /)

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	開発段階	申請予定時期	剤形
E5564	敗血症治療剤 / エンドトキシン拮抗剤 (一般名: エリトラン)	米国 欧州 日本		2009年度	注射
E7389	抗がん剤 (乳がん) / 微小管伸長阻害剤 (一般名: エリプリン)	米国 欧州 日本		2009年度	注射
AS-3201	糖尿病合併症治療剤 / アルドース還元酵素阻害剤 (一般名: ラニレスタット)	米国		2012年度	経口
アリセプト (E2020)	【剤形追加】徐放製剤の用法・用量、剤形追加	米国 欧州		2009年度	経口
アリセプト (E2020)	【小児有用性】がん化学療法に伴う認知機能障害	米国		2009年度	経口
アリセプト (E2020)	【小児有用性】ダウン症候群	米国		2009年度	経口
アシフェックス (E3810)	【剤形追加】長時間作用型製剤の剤形追加	米国		2009年度	経口
Saforis (E6014)	口腔粘膜炎治療剤 / ゲルタミン懸濁液	米国			外用
ゾネグラン (E2090)	【適応追加】てんかん単剤療法の効能・効果追加	欧州		2010年度	経口
ゾネグラン (E2090)	【適応追加】てんかん小児適応の効能・効果追加	欧州		2009年度	経口
Dacogen (E7373)	【適応追加】骨髄異形成症候群 (MDS) 延命効果の効能・ 効果追加	米国			注射
Dacogen (E7373)	【適応追加】急性骨髄性白血病 (AML) の効能・効果追加	米国		2010年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】若年性関節リウマチの効能・効果追加	日本		2011年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】強直性脊椎炎の効能・効果追加	日本			注射
E2007	てんかん治療剤 / AMPA受容体拮抗剤 (一般名: ペランパネル)	米国 欧州		2012年度	経口
SEP-190	不眠症治療剤 / GABA-A受容体作動剤 (一般名: エソピクロン)	日本		2010年度	経口
クレブジン	慢性B型肝炎治療剤 (一般名: クレブジン)	中国	準備中		経口
E0302	筋萎縮性側索硬化症 (ALS) (一般名: メコバラミン)	日本	/		注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】クローン病の効能・効果追加	日本	/	2009年度	注射
amolimogene (E7101)	子宮頸部異形成治療剤 / 治療用DNAワクチン	米国	/	2011年度	注射
バリエット (E3810)	【用法・用量追加】逆流性食道炎の用法・用量追加	日本	/		経口

: 2008年7月以降の進捗

* 欧州におけるゾネグランの開発に関しては、てんかん単剤療法、てんかん小児適応の効能・効果追加に集中することとし、全般性てんかん併用療法 (フェーズ) の開発は中止いたしました。

(4) 臨床試験中開発品 (フェーズII)

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	開発段階	申請予定時期	剤形
E2007	神経因性疼痛治療剤/AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	米国 欧州	II II		経口
E2007	多発性硬化症治療剤/AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	欧州	II		経口
E2007	片頭痛予防/AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	米国	II		経口
E5555	急性冠症候群治療剤/トロンビン受容体拮抗剤	米国 欧州 日本	II II II	2012年度	経口
E5555	アテローム血栓症治療剤/トロンビン受容体拮抗剤	米国 欧州 日本	II II II		経口
E6201	乾癬治療剤/新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤	米国	II		外用
◎ E7080	抗がん剤(甲状腺がん)/VEGFチロシンキナーゼ阻害剤	米国	II		経口
E7389	抗がん剤(非小細胞肺癌)/微小管伸長阻害剤 (一般名:エリプリン)	米国	II		注射
E7389	抗がん剤(前立腺がん)/微小管伸長阻害剤 (一般名:エリプリン)	米国 欧州	II II		注射
E7389	抗がん剤(肉腫)/微小管伸長阻害剤 (一般名:エリプリン)	欧州	II		注射
E7820	抗がん剤(大腸がん)/ $\alpha 2$ インテグリン発現抑制剤	米国	II		経口
AKR-501	血小板減少症治療剤/トロンボポエチン受容体作動剤	米国	II		経口
MORAb-003	抗がん剤(卵巣がん)/モノクローナル抗体 (一般名:farletuzumab)	米国	II		注射
MORAb-009	抗がん剤(膵臓がん)/モノクローナル抗体	米国	II		注射
アリセプト (E2020)	【適応追加】レビー小体型認知症の効能・効果追加	日本	II		経口
irofulven (E7850)	抗がん剤(前立腺がん等)/DNA合成阻害剤	米国	II		経口
E7210 (一時開発中断中)	超音波造影剤	日本	II		注射

◎: 2008年7月以降の進捗

2) 領域別一覧

(1) 神経

製品名、 開発品コード	概要	開発状況	オリジン
アリセプト (E2020)	アセチルコリンエステラーゼ阻害作用に基づき、すでにアルツハイマー型認知症治療剤として承認を取得しています。	【適応追加等】 脳血管性認知症 米：申請中 小児有用性 米：フェーズ レビー小体 日：フェーズ 【剤形追加】 液剤 欧：申請中 ゼリー剤 日：申請中 徐放製剤 欧米：フェーズ	自社
E2007	一般名はペランパネルで、グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害し、各種神経疾患への可能性を有しています。	てんかん 欧米：フェーズ 神経因性疼痛 欧米：フェーズ 片頭痛予防 米：フェーズ 多発性硬化症 欧：フェーズ	自社
AS-3201	一般名はラニレスタットで、強力なアルドース還元酵素阻害作用に基づき、糖尿病合併症治療剤をめざしています。	糖尿病性神経障害 米：フェーズ	大日本住友製薬
ルフィナマイド (E2080)	欧州ではレノックス・ガストー症候群の併用療法として「イノベロン」のブランド名で承認を取得しています。 (米国でのブランド名は検討中)	レノックス・ガストー症候群および成人の部分てんかんの併用療法 米：申請中	ノバルティス
ゾネグラン (E2090)	一般名はゾニサミドで、幅広い抗てんかんスペクトラムを有し、忍容性の高いてんかん治療剤です。すでに成人部分てんかんを対象に併用療法の適応を取得しております。	【適応追加】 単剤療法 欧：フェーズ 小児適応 欧：フェーズ	大日本住友製薬
E0302	日本で末梢性神経障害治療剤として広く使われているメコバラミンについて、新たに筋萎縮性側索硬化症を対象としたフェーズ / が進行中です。	筋萎縮性側索硬化症 日：フェーズ /	自社
E2014	ボツリヌス毒素が神経筋接合部でコリン作動性神経終末に作用し、アセチルコリンの遊離を阻害することで筋を弛緩させます。	痙性斜頸 日：申請中	ソルスティス・ ニューロ サイエンス
SEP-190	非ベンゾジアゼピン系に属するGABA-A受容体作動剤で、一過性不眠、短期不眠や高齢者の不眠に効果を期待しております。	不眠症 日：フェーズ	セブラコール

(2) がん、支持療法

製品名、 開発品コード	概要	開発状況	オリジン
E7389	一般名はエリブリンで、カイメン由来のハリコンドリンBを基にした全合成誘導体です。微小管の伸長を阻害し細胞分裂を抑制することにより抗腫瘍活性を示します。乳がんでのPOCに成功しました。	乳がん 欧米：フェーズ 日：フェーズ 非小細胞肺癌 米：フェーズ 前立腺がん 欧米：フェーズ 肉腫 欧：フェーズ	自社
E7820	2インテグリン発現抑制作用を有する血管新生阻害剤です。	大腸がん 米：フェーズ	自社
E7080	VEGFチロシンキナーゼ阻害剤です。	甲状腺がん 米：フェーズ	自社
MORAb-003	葉酸受容体 に対するヒト化IgG1抗体です。	卵巣がん 米：フェーズ	自社
MORAb-009	メソセリンに対するIgG1抗体です。	膵臓がん 米：フェーズ	自社
Dacogen (E7373)	一般名はデシタピンで、DNAメチル化阻害による細胞分化誘導作用を有し、すでに米国で骨髄異形成症候群(MDS)で適応を取得しています。	【適応追加】 急性骨髄性白血病(AML) 米：フェーズ MDSの延命効果 米：フェーズ 【用法・用量】 MDS5日間投与 米：申請準備中	自社
irofulven (E7850)	DNA合成阻害により各種固形がんの効果期待しています。	前立腺がん 米：フェーズ	自社
Aloxi (E3270)	セロトニン(5-HT ₃)受容体拮抗に基づき、すでに米国で、がん化学療法および術後の悪心・嘔吐で承認を取得しております。	【剤形追加】 経口剤(がん化学療法における急性悪心・嘔吐予防)米：承認	自社
AKR-501	経口で効果が期待されるトロンボポエチン受容体のアゴニストです。	特発性血小板減少性紫斑病 米：フェーズ	自社
amolmogene (E7101)	ヒトパピローマウイルス(HPV)に対する治療用DNAワクチンです。	子宮頸部異形成 米：フェーズ /	自社
fospropofol (E2083)	一般名はfospropofolで、プロポフォールの水溶性プロドラッグです。	大腸内視鏡検査、気管支内視鏡検査 など簡便な診断・治療の際の鎮静 米：申請中	自社
Saforis (E6014)	グルタミン懸濁製剤です。化学療法に伴う口腔粘膜炎に対して保護作用を示します。	口腔粘膜炎 米：フェーズ	自社

(3) 血管・免疫反応

製品名、 開発品コード	概要	開発状況	オリジン
ヒュミラ (D2E7)	一般名はアダリムマブで、ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体です。日本で関節リウマチの承認を取得しました。	関節リウマチ 日：承認 【適応追加】 乾癬 日：申請中 若年性関節リウマチ 日：フェーズ 強直性脊椎炎 日：フェーズ クローン病 日：フェーズ /	アボット
E5564	一般名はエリトランで、エンドトキシン拮抗作用を示し、POC試験において種々のグラム陰性菌由来のエンドトキシンに起因する重症敗血症で、目標としていた有効性および安全性が確認されました。	重症敗血症 国際共同治験：フェーズ	自社
E5555	トロンピン受容体拮抗作用に基づき血小板凝集抑制作用と平滑筋増殖抑制作用を示します。	急性冠症候群 日米欧：フェーズ アテローム血栓症 日米欧：フェーズ	自社
E6201	新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤です。	乾癬 米：フェーズ	自社
T-614	炎症性のサイトカインの産生、リンパ球増殖および免疫グロブリン産生を抑制します。	関節リウマチ 日：申請中	富山化学工業

(4) 消化器

製品名、 開発品コード	概要	開発状況	オリジン
パリエット/ アシフェックス (E3810)	プロトンポンプ阻害作用に基づき、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌などの承認を取得しています。さらに米国で青年期胃食道逆流症における短期治療の効能・効果を追加取得しました。	【適応追加】 青年期胃食道逆流症 米：承認 非びらん性胃食道逆流症 日：再申請準備中 【用法・用量追加】 逆流性食道炎 日：フェーズ / 【剤形追加】 長時間作用型製剤 米：フェーズ	自社
ガスマチン	一般名はモサプリドで、選択的なセロトニン(5-HT ₄)受容体アゴニストであり、アセチルコリン遊離の増大を介して消化管運動促進作用および胃排出促進作用を示します。	機能性胃腸症 タイ：承認 マレーシア、インドネシア、フィリピン：申請中 アセアン等6カ国：申請準備中	大日本住友製薬

(5) 他疾患

製品名、 開発品コード	概要	開発状況	オリジン
イオメロン (E7337)	非イオン性造影剤として、コンピュータ断層撮影における造影等の効能・効果を日本で承認を取得しており、肝臓領域のダイナミックコンピュータ断層撮影における造影に関する用法・用量、剤形を追加しました。	【用法・用量、剤形追加】 肝臓領域ダイナミック コンピュータ断層撮影 日：承認	ブラッコ
KES524	一般名はシブトラミンで、脳内の神経伝達物質であるセロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害に基づく中枢作用による満腹感の亢進と体内のエネルギー消費の亢進により、体重の減少効果を期待しています。	肥満症 日：申請中	アボット
クレブジン	DNAポリメラーゼ阻害による抗ウイルス作用に基づく慢性B型肝炎治療剤です。	慢性B型肝炎 マレーシア、タイ、インドネシア フィリピン、インド：申請中 アセアン等3カ国：申請準備中 中国：フェーズ 準備中	ブゲン
グルファスト	一般名はミチグリニドで、膵臓の細胞スルフォニルウレア受容体と選択的に結合し、膵臓からのインスリン分泌を促進することによって血糖の低下作用を発揮します。	糖尿病 マレーシア、タイ、フィリピン、 インドネシア：申請中、 アセアン6カ国：申請準備中	キッセイ薬品
E7210	微小気泡(マイクロバブル)が超音波を反射することを利用した造影剤です。	日：開発一時中断	ブラッコ

12. 主なイベント

年月	概要
2008年4月	<ul style="list-style-type: none"> 次世代アルツハイマー病治療剤「E2012」、FDA（米国食品医薬品局）より臨床試験を再開してさしつかえない旨の通知を受領 <4月3日リリース> AMPA受容体拮抗剤「E2007」の開発状況について <4月11日リリース> ヒト型抗ヒトTNFαモノクローナル抗体「ヒュミラ」、日本で関節リウマチの効能・効果で製造販売承認を取得 <4月16日リリース> 欧州委員会が抗がん剤「MORAb-003」および抗がん剤「MORAb-009」をオーファンドラッグに指定 <4月16日リリース> 三光純薬株式会社、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社、日本光電工業株式会社と、ワーファリン投与患者様向けPT-INR簡易・迅速測定装置「コアグチェック XS」シリーズの販売に関する契約に合意 <4月17日リリース> 米国MGI PHARMA, INC.の買収による完全子会社化に伴う平成20年3月期業績予想の修正に関するお知らせ <4月21日リリース> 「つらい疲れ」に、医薬部外品ドリンク剤「チョコラBBローヤル2」を日本で新発売（5月12日発売） <4月24日リリース>
2008年5月	<ul style="list-style-type: none"> 英国国立医療技術評価機構（NICE）の認知症治療薬使用を制限するガイダンスの策定プロセスに関する控訴審において勝訴 <5月1日リリース> 中国に製薬用機械販売支援・メンテナンス会社を設立 <5月7日リリース> FDA（米国食品医薬品局）の諮問委員会が鎮静剤「fospropofol disodium」の承認推奨を採択 <5月8日リリース> 英国控訴院が英国国立医療技術評価機構（NICE）の認知症治療薬使用を制限するガイダンスの策定プロセスに関する決定を下す <5月9日リリース> ライオン株式会社と医療用医薬品の「パファリン」について日本における独占的販売権許諾に関する契約を締結 <5月12日リリース> ストックオプションとして新株予約権を発行する件 <5月14日リリース> ASCO（米国臨床腫瘍学会）の年次総会で当社のがん領域製品およびパイプライン化合物に関する臨床データなど16報の最新知見を発表 <5月16日リリース> 抗がん剤「E7389」、前治療歴の多い進行乳がん患者に抗腫瘍効果を示した臨床試験成績をASCO（米国臨床腫瘍学会）の年次総会で発表 <5月16日リリース> 非イオン性造影剤「イオメロン350」「イオメロン350シリンジ」、肝臓領域のダイナミックコンピューター断層撮影における造影に関する用法・用量等の追加承認を取得 <5月22日リリース> グラクソ・スミスクライン株式会社と鼻孔拡張テープ「ブリーズライト」シリーズの販売提携終了に合意 <5月29日リリース> 無担保社債の発行について <5月29日リリース>
2008年6月	<ul style="list-style-type: none"> ヒト型抗ヒトTNFαモノクローナル抗体「ヒュミラ 皮下注40mgシリンジ0.8mL」を日本で関節リウマチの効能・効果で新発売 <6月17日リリース> 連結子会社である株式会社クリニカル・サプライの株式の譲渡に関するお知らせ <6月19日リリース> ストックオプション（新株予約権）の割当に関するお知らせ <6月20日リリース> 抗がん剤「MORAb-009」に関するフェーズII試験の実施施設を欧州連合内に拡大 米国子会社のMorphotek, Inc.が米国立がんセンターと前立腺がん治療用モノクローナル抗体開発に関するライセンス契約を締結

年月	概要
2008年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「アシフェックス20mg」、米国で青年期胃食道逆流症の短期治療に係る追加承認を取得〈7月1日リリース〉 ・ 骨髄異形成症候群患者様を対象として「Dacogen」とサポーティブケアとを比較した欧州がん研究・治療機構（EORTC）により実施されたフェーズⅢ試験における有効性の予備解析結果を公表〈7月1日リリース〉 ・ スtockオプション（新株予約権）の発行内容等確定に関するお知らせ〈7月7日リリース〉 ・ 術後24時間までの悪心・嘔吐の予防を効能・効果とする「Aloxi 注射剤0.075mg」を米国で販促開始〈7月9日リリース〉 ・ 骨粗鬆症治療剤「アクトネル錠17.5mg」、骨ペーজেット病に係る効能・効果の追加承認を取得、骨ペーজেット病用の新包装を追加〈7月16日リリース〉 ・ 米国における「アシフェックス」の特許侵害訴訟の控訴審で全面的に勝訴〈7月22日リリース〉 ・ 鎮静剤「fospropofol disodium」の承認申請に関するFDA（米国食品医薬品局）からの回答を受領、FDAは今後の承認にいたる方向性を示す非承認通知を発行〈7月26日リリース〉 ・ 中国子会社の衛材(中国)薬業有限公司がSTADA社（ドイツ）の中国販売子会社であるヘルスビジョンエンタープライズ社（香港）と糖尿病性神経因性疼痛治療剤「α-Lipon 300 STADA」の中国におけるライセンス契約を締結〈7月30日リリース〉 ・ 当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針の継続について〈7月31日リリース〉 ・ 米国子会社のMorphotek, Inc.がPivotal BioSciences, Inc.（米国）とLEC（Liver-Expression Chemokine）基盤技術の利用に関する契約を締結
2008年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンバイオ製薬株式会社と「ベンダムスチン塩酸塩」の日本における共同開発および販売に関する独占的ライセンス契約を締結〈8月18日リリース〉 ・ 制吐剤「Aloxi カプセル」、米国でがん化学療法に伴う悪心・嘔吐の予防の効能・効果で製造販売承認を取得〈8月24日リリース〉
2008年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 末梢の血の巡りを良くして、手足の冷えや肩こりに効く「ホットミン」を日本で新発売（9月16日発売）〈9月3日リリース〉
2008年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「にきび、肌あれ」に効く医薬品ドリンク剤「チョコラBBドリンクビット」を日本で新発売（10月15日発売）〈10月8日リリース〉 ・ 皮膚T細胞リンパ腫治療剤「Ontak」、FDA（米国食品医薬品局）より生物製剤追加承認申請に基づく承認を取得（迅速承認から完全承認への切り替え）〈10月16日リリース〉